

第 3 期

令和 7 年度から令和 11 年度まで

周南市教育大綱

周南市の教育、学術及び文化の振興に関する
総合的な施策の大綱(周南市教育振興計画)

【資料編】

素案

令和 7 年 3 月

周南市

周南市教育委員会

内容

第六章 資料編.....	1
第2期教育大綱の検証と成果.....	1
基本方針① 道徳教育や幼児教育の充実を柱とした「豊かな心」の育成	1
1 道徳教育の充実	1
2 幼児教育の充実	2
基本方針② 「確かな学力」「健やかな体」の育成	3
3 確かな学力の育成	3
4 健やかな体の育成	4
基本方針③ コミュニティ・スクールの充実	5
5 コミュニティ・スクールの充実	5
6 地域学校協働活動の充実	6
7 青少年の健全育成	7
基本方針④ 信頼と期待に応える教育環境の充実・整備	8
8 児童生徒の『生き抜く力』を育成する生徒指導体制の 充実と教職員の人材育成	8
9 望ましい教育環境の充実・整備	9
10 安心・安全な学校給食の提供	10
基本方針⑤ いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現	11
11 生涯学習活動の推進	11
12 生涯にわたり、スポーツ活動に親しむ環境の整備	12
13 文化芸術活動の推進	13
14 文化財の保護と活用	13
15 読書が育むひとづくり・まちづくり	14
16 人権教育の推進	15
17 まちづくりを担うひとづくり	16
第3期教育大綱策定にかかるアンケート回答一覧	17
アンケート対象：小学5年生	17
アンケート対象：中学2年生	25
アンケート対象：15歳以上の市民	33

第六章 資料編

第2期教育大綱の検証と成果

第2期教育大綱のもと、教育に関する様々な分野において具体的な取組を進めてきました。そのような中、令和2年以降のコロナ禍は、臨時休校を余儀なくされたり、運動会や修学旅行など様々な行事を中止せざるを得ないといった深刻な影響を及ぼしました。

しかし一方では、オンライン授業の導入など、半ば強制的にICT¹を活用しなければならない状況が生まれたことで、教育のデジタル化が急速に進むなど、大きな転換点ともいえるべき時期となりました。

このような状況の中、第2期教育大綱に基づいて取り組んできた事業については毎年「周南市の教育事業概要」の策定による各施策の見直し・改善を行い、その結果を翌年度以降の施策の展開に反映してきました。

基本方針① 道徳教育や幼児教育の充実を柱とした 「豊かな心」の育成

推進方向 1 道徳教育の充実

■ これまでの取組

- ◆ 各学校において特色のある体験活動等やコミュニティ・スクールの機能を生かし、地域資源を活用した郷土学習等への充実を図りました。
- ◆ キャリア教育について、各学校におけるキャリア・パスポートの作成や職業体験等への積極的な取組を促し、社会的・職業的自立に向けた資質や能力の育成を図りました。
- ◆ 若手教職員(3年次まで)を対象に、授業づくりの研修を通して、道徳価値の自覚と自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を高める「考え、議論する道徳」の授業力を高める取組を行いました。
- ◆ 学校図書館司書及び指導員を増員配置し、児童生徒の読書活動の推進に向けた環境整備及び学校図書館の充実に取り組みました。

¹ ICT:「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションのことで、情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称

■ 成果指標の検証

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
学校のきまりを守っている と思う児童生徒の割合	小学校 90.4% 中学校 97.1%	100%に 近づける	指標が なくなった	※
人の役に立つ人間になりたい と思う児童生徒の割合	小学校 95.0% 中学校 96.9%	100%に 近づける	96.7% 96%	※

※全国学力・学習状況調査（小学 6 年生・中学 3 年生対象）（文部科学省）より

■ 今後の課題など

- こどもの「豊かな心」の育成のために、「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業改善の推進やキャリア教育の充実とともに、地域に貢献する活動や地域資源を活用した郷土学習に取り組む必要があります。
- 規範意識を高め、自らが道徳的価値を自覚して道徳的実践力を更に高めていく授業づくりの工夫と、児童生徒の心に響く授業を展開する授業力を更に高める必要があります。
- 今後も、豊かな表現力や想像力を育成するため、公立図書館との連携を推進するとともに学校の連携を始めとした各機関の連携と共に、司書教諭の養成や学校司書の配置など学校図書館の整備充実、読書機会の確保、読書活動の重要性などに関する普及啓発などを通じ、こどもの読書活動を推進する必要があります。

推進方向 2 幼児教育の充実

■ これまでの取組

- 令和 4 年度に設置した乳幼児教育センターを核として、研修会や幼保・小連携交流会の開催、相談会やアドバイザー等の園訪問などにより人材育成を図りました。
- 幼児教育アドバイザーを配置し、関係機関の相互連携による教育・保育充実のための実践的研究協議会の開催等を通じて、幼保こ小の連携・接続の推進に向けた取組みを進めました。
- 学校間との会議や協議等だけでなく、地域活動への参加や中学生との交流など、多様な関わりの機会を創出しました。
- 施設数の減少により来園者数は減少したが、積極的な園開放に努めた結果、多くの親子に向けて活動の場所が提供できました。

■ 成果指標の検証

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
市主催の研修会への幼稚園、保育所、認定こども園等全園（64 園）の参加率	60.3%	100%に 近づける	88.4%	※
地域間・校種間連携活動の実施率（年 15 回以上）	57.0%	100%に 近づける	100%	※

基本方針② 「確かな学力」「健やかな体」の育成

未就園児親子の来園者数	526 組	550 組	338 組	※
市主催の研修会への幼稚園、保育所、認定こども園等全園（64 園）の参加率	60.3%	100%に近づく	88.4%	※

※こども保育課（平成 30 年時点保育幼稚園課）調べ

■ 今後の課題

- ・ 乳幼児教育センターの機能を高め、保育士等のスキル向上の取り組みを更に強化する必要がある。
- ・ 中堅職員を中心としたサブアドバイザーの育成を進めるなど、人材育成の体制づくりを行う必要がある。
- ・ 多様な年代との関わりが生まれる機会をより多く提供するとともに、未就園児が定期的に活動できる場の提供が必要と考えている。

基本方針② 「確かな学力」「健やかな体」の育成

推進方向 3 確かな学力の育成

■ これまでの取組

- ◆ 児童生徒の立場からこれまでの授業を見直し、求められる資質・能力を育成する授業を実現できるよう「授業づくりのスタートライン」を作成し、授業づくりに活用しました。
- ◆ ネイティブの外国語に触れる授業や 1 人 1 台端末等の ICT 機器を活用した学習展開などを通じた質の高い学びを実現することで、「確かな学力」の育成を図りました。
- ◆ 「周南市 ICT 教育プロジェクト会議」を立ち上げ、定期的に研修会を行い、各校の現状や課題、実践事例を共有し情報発信することで、ICT 機器活用の学校間格差の解消に努めました。
- ◆ 特別な教育支援を必要とする児童生徒が、適切な指導や必要な支援を受けることができるように支援相談を行うとともに、生活指導員や介助員を配置し、教育的ニーズに応じた学びの実現に向けた環境づくりに努めました。
- ◆ 教員が児童生徒と向き合う時間を確保し、本来業務に専念できるよう教員業務支援員を配置し、教育環境の充実を図っています。

■ 成果指標の検証

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
授業において、課題の解決に向けて、自ら考え、自ら取り組んだと思う児童生徒の割合	小学校 78.3% 中学校 83.1%	増加させる	78.6% 84.6%	※ 1
授業において、友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしたと思う児童生徒の割合	小学校 80.8% 中学校 86.8%	増加させる	78.6% 84.6%	※ 1

児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する授業が行える教員の割合	88.3%	100%に近づく	100%	※ 2
職場見学をしたり、職場体験活動を行ったりした学校の割合	小学校 77.8% 中学校 100%	100%に近づく 100%	84.6% 76.9%	※ 3

※ 1 全国学力・学習状況調査（小学 6 年生・中学 3 年生対象）（文部科学省）より

※ 2 学校教育課調べ

※ 3 全国学力・学習状況調査（学校質問紙）（文部科学省）

■ 今後の課題など

- ・ ICT を活用しながら「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善に取り組むとともに、学習指導要領の趣旨が各学校で理解され実施されるよう、引き続き効果的な指導のあり方について検討していく必要があります。
- ・ 不登校や特別な教育支援を必要とする児童生徒は、近年増加傾向にあるため、一人ひとりの特性やニーズに応じた指導・支援が求められています。
- ・ 切れ目のない一貫した子育て支援を目指し、幼児期の教育と小学校教育との接続を積極的に推進していく教育活動が必要です。

推進
方向

4

健やかな体の育成

■ これまでの取組

- ◆ 各学校において、遊びの機会の設定やラジオ体操に取り組むことにより、こども自身の体力向上に対する意識が高まりました。
- ◆ 学校保健安全委員会や学校運営協議会で、児童生徒の体力の課題を共有したり、熟議で体力向上について協議したりするなど、「学校・家庭・地域」が一体となって取り組んでいます。
- ◆ コロナ禍によりスポーツ活動が困難な時期もありましたが、各地区のスポーツ振興会が実施する地域スポーツ活動や地域コミュニティ活動を支援し、運動に親しむことができる環境や機会の拡充を図りました。
- ◆ 学校給食を通して、栄養教諭等を中核とした家庭や地域、関係機関との連携による食育を推進し、食の知識や正しい食習慣の定着などを図りました。

■ 成果指標の検証

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
体育（保健体育）の授業は楽しいと感じている児童生徒の割合	64.2%	増加させる	91.3%	※ 1

基本方針③ コミュニティ・スクールの充実

地区スポーツ事業参加率（参加者数／人口）	23.1%	25%	10.6%	※ 2
----------------------	-------	-----	-------	-----

※ 1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学校 5 年生・中学校 2 年生対象）（スポーツ庁）より

※ 2 スポーツ振興課（平成 30 年度時点文化スポーツ課）調べ

■ 今後の課題など

- 生活スタイルの多様化に伴い、メディア依存や生活時間の夜型化による生活習慣の乱れなど、児童生徒の心身の健康に現代的な健康課題が生じており、それらに対応した保健教育が必要です。
- 体力テストの分析結果に基づき、体力向上と運動習慣の定着を図り、心身ともに健康でたくましい身体を育んでいく必要があります。
- 市民誰もが、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ、スポーツを支える活動に参画できるよう、多様なニーズに応えられる環境整備が求められています。

基本方針③ コミュニティ・スクールの充実

推進方向 5 コミュニティ・スクールの充実

■ これまでの取組

- ◆ 「学校運営協議会」において、こどもの意見を活かした活動を計画し、実践したり、大人もこどもも「自分事」として捉え、参画する環境づくりを重点課題としたアクションプランを策定するなど、地域とともにある学校づくりを推進しました。
- ◆ 各学校では、地域連携担当者を中心とした全教職員体制で地域連携教育に関わる雰囲気づくりや実働的な組織づくりに取り組みました。
- ◆ 学校運営協議会委員や地域住民、保護者の方々が、コミュニティ・スクールに関する基本的な情報や知識を共有し、協議する研修会を行いました。

■ 成果指標の検証

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
児童生徒の地域ボランティア参加者	16,130 人	7,000 人	6,307 人	※
地域住民の来校者数	69,208 人	40,000 人	33,903 人	※
地域や社会のために何をすべきかを考える児童生徒の割合	小学校 47.6% 中学生 43.5%	60.0% 70.0%	61.0% 58.0%	※

※ 学校教育課調べ

■ 今後の課題など

- ・ 地域と学校の連携・協働体制の構築の取組であるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組は全体として進んでいる一方で、学校種間で差が生じています。
- ・ 地域が持続的に発展していくために、その地域への愛着・誇りを持ち、地域の課題解決に主体的に参加する人材を育成する必要があるため、今後もコミュニティ・スクールとしての取り組みを推進していくことが必要です。
- ・ 保護者や地域住民にコミュニティ・スクールをもっと知ってもらうために、広報活動の充実が必要です。

推進方向 6 地域学校協働活動²の充実

■ これまでの取組

- ◆ 「やまぐち型地域連携教育³」の要となる地域学校協働活動推進員を全13中学校区に配置し、推進員に対する研修会等の開催や地域人材や学校と交流する機会を提供し活動を支援しました。
- ◆ 教育の基本となる家庭の教育力を向上させるため、多様な地域人材で構成された家庭教育支援チームの活動を支援しました。
- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、中学校区単位で学校等と連携しながら家庭教育支援活動を行う「やまぐち型家庭教育支援チーム」の立ち上げを支援しました。
- ◆ 放課後子供教室と児童クラブの連携を推進し、一体型教室数の拡大に取り組みしました。

■ 成果指標の検証

指標	平成30年度	令和6年度目標	令和5年度実績	
放課後子供教室と児童クラブの一体型教室 [※] 数	15 教室	18 教室	17 教室	※
放課後子供教室の協働活動サポーター数	380 人	450 人	383 人	※
家庭教育支援チーム数	4 チーム	6 チーム	7 チーム	※

※生涯学習課調べ

² 【地域学校協働活動】地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTAなど幅広い地域住民の参画を得て地域全体でこどもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動のこと。

³ 【やまぐち型地域連携教育】コミュニティ・スクールが核となり、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりでこどもたちの学びや育ちを見守り支援する取組

■ 今後の課題など

- ・ 学校・家庭・地域の連携・協働を持続的に進めるうえで地域人材の確保やスキルアップが求められており、活動の支援に加えて新たな人材の発掘や育成に取り組むことが必要です。
- ・ 放課後子供教室を担う協働活動サポーターの高齢化が進んでいることから、幅広い経験を有する新たな地域人材の確保を進めていくことが必要です。

推進方向 7 青少年の健全育成

■ これまでの取組

- ◆ 市主催事業等へのボランティア活動参加呼びかけなどを行い、児童生徒のボランティア参加機会の拡大に取り組みました。
- ◆ 大田原自然の家の主催事業のPR等、施設利用者数増加の支援を実施しました。また、休校中の中須中学校への移転を決定し、準備を進めています。
- ◆ 青少年を取り巻く環境が健全なものとなるよう、定期的な環境浄化活動を実施しました。

■ 成果指標の検証

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
小学生、中学生、高校生等のボランティア・地域活動への参加者数	17,876 人	20,000 人	6,911 人	※ 1
大田原自然の家利用者数	8,705 人	8,000 人	7,774 人	※ 1
青少年のインターネットトラブル件数	25 件	減少させる	22 件	※ 2

※ 1 生涯学習課調べ

※ 2 周南警察署管内山口県警察本部調べより

■ 今後の課題など

- ・ ボランティア活動等への積極的な参加・参画の機会を提供し拡充するとともに、ボランティア活動等を通し、児童生徒が自身の成長を実感する契機となるよう、支援を行うことが必要です。
- ・ 大田原自然の家の移転後も、その事業継承施設において、自然体験を活かした多様なプログラムの提供や次代を担う若者の育成など、より良い青少年健全育成を推進することが必要です。
- ・ 特にインターネットで青少年がトラブルに遭うことを防ぐため、青少年及びその保護者も対象に、啓発活動を行っていくことが必要です。

基本方針④ 信頼と期待に応える教育環境の充実・整備

推進方向 **8** 児童生徒の『生き抜く力』を育成する生徒指導体制の充実と教職員の人材育成

■ これまでの取組

- ◆ 不登校やいじめに対し、きめ細かな生徒指導や、福祉や心理の専門家と連携した相談体制を構築してきました。
- ◆ 不登校傾向にある児童生徒が、安心して学習や活動を行うことができるよう、教育支援センターにおいて、児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応で自立を促し、学校復帰を支援してきました。
- ◆ 若手教職員を対象に、危機管理・危機対応についての理解を深め、日々の業務の中での学校危機に対する対応力を高める研修を実施してきました。
- ◆ 教育研究センターによる教職員のキャリアステージに応じた研修会の開催や ICT を活用した学習指導に関する支援や助言を通じ、教職員の資質向上を図りました。
- ◆ 長期休業期間中の学校閉庁日の設定や夜間の留守番電話対応、学校事務系校務支援システム（T-Net）や統合型校務支援システムの導入等、教職員の働き方改革に努めており、教職員の時間外在校時間は着実に減少しました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
児童生徒 1,000 人当たりの不登校児童生徒数	小学校 4.7 人 中学校 29.0 人	減少させる	20.1 人 56.4 人	※ 1
小・中学校におけるいじめの解消率	小学校 82.2% 中学校 76.6%	100%に近づける	51.72% 59.15%	※ 1
「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合	小学校 96.7% 中学校 96.6%	100%に近づける	97% 96.1%	※ 2
学校運営充実のための自己点検シート（県教委作成）Ⅰ-3「学校安全・危機管理」の評価平均（5 点満点）	3.8 点	4.3 点	3.7 点	※ 1

※ 1 学校教育課調べ

※ 2 全国学力・学習状況調査（小学 6 年生・中学 3 年生対象）（文部科学省）より

■ 今後の課題など

- ・ 不登校児童生徒数は増加傾向にあり、抱える問題についても不登校やいじめだけでなく、家庭環境の問題等、複雑かつ多岐にわたっており、解決に向けた支援も長期間にわたるケースが多く、より細やかな支援が必要となります。
- ・ こどもを取り巻く家庭や地域社会の在り方が大きく変容する中、学校における暴力行為やいじめ等の児童生徒の問題行動が多様化、複雑化しており、教育支援センターによる支援や学校運営協議会の活用など、組織力や危機対応能力の強化が求められます。

- ・ 教職員の資質能力の向上を図るため、デジタル技術の活用を含めた教職員研修の高度化を進める必要があります。
- ・ 引き続き、教職員の働き方改革を推進し、こどもに向き合う時間の確保や業務に集中できる環境づくりが必要です。

推進方向 9 望ましい教育環境の充実・整備

■ これまでの取組

- ◆ 国の「GIGA スクール構想⁴」や新型コロナウイルス感染症対策への対応を契機として、児童生徒 1 人 1 台端末や各教室への大型ディスプレイや無線 LAN 環境整備など、学校の ICT 環境は高度化が飛躍的に進みました。
- ◆ 通学路の安全確保のため、学校及び家庭・地域・関係機関が連携した、「周南市通学路安全推進会議」を設置し、合同点検の実施や危険箇所の対策等の検討などを毎年実施しています。
- ◆ 令和 2 年度までに、市内小学校全ての普通教室への空調整備が完了しました。
- ◆ トイレの洋式化率が約 20% 上昇し、快適な教育環境の充実に繋がりました。
- ◆ 定期的な安全点検を実施し、児童生徒の安全確保に努めることができました。
- ◆ 「周南市学校施設等長寿命化計画」を策定し、予防保全型の計画的な改修を進めるとともに、特別な支援を要する児童生徒にも配慮した施設改善に取り組み、安心安全な教育環境の整備を進めました。
- ◆ 和田中学校について、保護者からの申し出を受け、保護者や地域住民との協議を重ねた結果、令和 2 年度末で廃校とし、富田中学校へ統合しました。
- ◆ 令和 3 年度からは、高校生の一般奨学金の公立私立の区分を撤廃して選択制にするとともに、卒業後 3 年間、周南市内に定住することにより償還が免除となる定住促進奨学金について、従来の月額 1 万円に加えて月額 2 万円を新設、拡充しました。

⁴ 【GIGA スクール構想】 1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現するための国の構想

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
小中学校のトイレの洋式化率	35.6%	50.0%	58.7%	※ 1
小中学校のすべての普通教室への大型ディスプレイ等導入率	41.2%	100%	100%	※ 2

※ 1 教育政策課調べ ※ 2 学校教育課調べ

■ 今後の課題など

- ・ 全ての児童生徒が、ICT 活用を「当たり前」で「日常的」なものとして利用できるよう、引き続き整備した環境の維持管理を適切に行うとともに、今後、ますます多様化する教育的ニーズや技術動向への対応を踏まえ、計画的に機器やシステムの更新、拡充を図ることが必要です。
- ・ 引き続き「周南市通学路安全推進会議」で、関係機関と連携を図りながら、通学路の整備などの安全対策を行う必要があります。
- ・ 近年の猛暑による熱中症対策のため、図書室、理科室、音楽室等の特別教室においても空調設備が必要です。
- ・ 本市の学校施設は、築後 30 年を経過した建物が 7 割を超えており、長寿命化計画に基づく老朽化対策が喫緊の課題です。
- ・ 少子化の進展により各学校の児童生徒は更に少なくなり、中山間地域だけでなく市街地においても適正な規模による十分な教育効果が期待できなくなることが想定されるため、学校の在り方について、教育効果や効率化、地域の核としての役割など、多角的な面からの検討が必要です。

推進方向 10 安心・安全な学校給食の提供

■ これまでの取組

- ◆ 徹底した安全管理、栄養バランスへの配慮、地産地消等による献立の工夫、食育の推進などに取り組みました。
- ◆ 老朽化した 2 つの給食センターに替わる施設として、新たに「新南陽学校給食センター」を整備し、市内 6 か所の学校給食センターを運営して児童生徒の心身の健康な成長に資する安心・安全でおいしい学校給食の提供に努めました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
地産地消実施率				
◆ 重量ベース（主要 1 品目に占める県内産青果取扱重量）	22.9%	30.0%	27.97%	※
◆ 品目ベース（全品目中に占める県内産品目数）	67.14%	70.0%	65.5%	

学校給食費収納率（現年度）	99.76%	99.80%	99.37%	※
---------------	--------	--------	--------	---

※ 学校給食課調べ

■ 今後の課題など

- ・ 安心・安全でおいしい学校給食を提供するためには、良質な食材を安定供給できるように、新たな地場産品の納品ルートを確保するなど、生産者や市場関係者と連携し、地産地消実施率を向上させることが求められます。
- ・ 地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていくことが必要です。
- ・ 児童生徒が食への理解を深めることで、「食品ロス」の低減に向けた取組が必要です。
- ・ 食物アレルギーを有する児童生徒の増加やアレルギーの原因となる食材の複雑化など、一人ひとりの正確な情報を把握し、安心・安全な給食の提供が求められます。

基本方針⑤ いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現

推進方向 11 生涯学習活動の推進

■ これまでの取組

- ◆ 市民センター等や学び・交流プラザにおいて、主催講座の開催、活動の場の提供などにより、市民の生涯学習活動を支援しました。
- ◆ 地域において生涯学習活動推進の要となる生涯学習主事（市民センター主事）スキルアップ研修の開催や、地域人材や学校との交流の機会を提供し、人材育成に取り組むとともに、市民センター等が主催する講座などにおいて、多様な学習機会を提供してきた。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
市民センター等及び学び・交流プラザでの生涯学習講座開催件数	217 件	250 件	257 件	※ 1
しゅうなん出前トーク利用件数	423 件	450 件	309 件	※ 2
学びサポーター※登録者数	55 人	100 人	53 人	※ 2

※ 1 生涯学習課調べ

※ 2 学び・交流プラザ調べ

■ 今後の課題など

- ・ 人生 100 年時代、超スマート社会の到来、DX の急速な進展など、急速な変化を続ける社会において、個人の価値観やライフスタイルが変化し、学習ニーズが多様化する中、市民一人ひとりがより豊かな人生を送るために、「いつでも」「ど

こでも」生涯を通じて学習することができる機会の充実とともに、学習を通して身に付けた知識や能力を発揮する機会の拡充や生涯学習の担い手となる人材育成が求められています。

推進方向 12 生涯にわたり、スポーツ活動に親しむ環境の整備

■ これまでの取組

- ◆ スポーツ協会等と連携し、年齢・性別・障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツ活動を楽しめるスポーツイベントを開催しました。
- ◆ 大津島ポテトマラソンやくまげ鶴の里ウォーク大会等、地域の特色を活かしたスポーツイベントを開催しました。
- ◆ スポーツ協会や各種競技団体と連携し、コロナ禍においても大会を誘致し、トップレベルのプレーを「みる」環境を提供しました。
- ◆ PFI⁵手法を用いた「周南緑地整備管理運営事業」を展開し、陸上競技場の全天候型への改修や、新水泳場整備をはじめとする周南緑地のスポーツ環境の充実に取り組みました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
しゅうなんスポーツフェスタ参加者数	4,000 人	5,000 人	12,000 人	※
中国大会以上の大規模大会誘致数	34 件	45 件	29 件	※

※スポーツ振興課（平成 30 年度時点文化スポーツ課）調べ

■ 今後の課題など

- ・ 老朽化が進むスポーツ施設を今後も安全で快適に利用するために、PFI 事業の対象外の施設についても計画的な改修や大規模改修が必要です。
- ・ 部活動の地域移行に伴い、中学生が将来にわたりスポーツ活動に継続して親しみ、楽しむことができる機会を、しっかり確保する必要があります。
- ・ 市民誰もが、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを支える活動に参画できるよう、多様なニーズに応えられる新たな環境整備が求められています。

⁵ 【PFI】（Private Finance Initiative）とは、民間資金等活用事業とも呼ばれ、公共施設などの建設、維持管理、運営に、民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方です

推進方向 13 文化芸術活動の推進

■ これまでの取組

- ◆ 周南市文化振興財団と連携し、文化会館や美術博物館等において、質の高い舞台芸術や展覧会等の鑑賞機会の提供などに取り組みました。
- ◆ 「周南市美術展」や、地元で活躍する作家の近作を紹介する秀作美術展「しゅうなんアート・ナウ」、市民芸術文化祭への支援など、市民の文化芸術活動の発表機会の提供に取り組みました。
- ◆ 全国発信事業の「林忠彦賞」の実施を支援し、写真文化の振興に取り組みました。
- ◆ 指定管理者制度を活用し、文化芸術の拠点となる施設を効果的に管理運営するとともに、施設の長寿命化を図るため計画的な施設改修に取り組みました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
市美術展の出品点数	340 点	340 点	260 点	※
文化会館使用率	73.4%	75%	65.8%	※

※ 文化振興課（平成 30 年度時点文化スポーツ課）調べ

■ 今後の課題など

- ・ 中学校部活動の地域移行や文化芸術の担い手の高齢化、価値観の多様化を踏まえ、広く市民の文化芸術活動を支える制度や組織体制の再構築など、文化芸術振興を推進する仕組みの拡充が必要です。
- ・ 市民の文化芸術鑑賞や発表の場を提供する文化芸術の拠点施設について、施設の整備や改修、市民ニーズに応える機能の維持や強化が必要です。
- ・ 引き続き、市民の主体的な文化芸術活動の支援と、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供、文化芸術の拠点となる施設の整備や計画的な改修を行う必要があります。
- ・ 市民による多彩な文化芸術の創造や伝統文化の継承など、次世代への働きかけや多様な文化芸術に触れる機会を充実させることが必要です。

推進方向 14 文化財の保護と活用

■ これまでの取組

- ◆ 本市の歴史や文化を伝える文化財について、調査や保護を進めて国の登録文化財としたほか、山田家本屋の屋根葺き替えなど文化財の適切な管理に取り組みました。
- ◆ 特別天然記念物「八代のツルおよびその渡来地」の保護と環境保全を図るとともに、鹿児島県出水市からの保護ツル移送・放鳥事業に取り組みました。

- ◆ 公共施設の再配置により有休施設を民俗資料館として活用し、郷土の歴史や民俗について学ぶ機会の提供を再開しました。
- ◆ 回天記念館において、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命の大切さについて考える機会を提供しました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
文化財指定登録件数	106 件	108 件	109 件	※
民俗資料展示施設の学校見学及び出張講座の参加児童数	530 人	600 人	195 人	※
ツルの渡来数	9 羽	増加させる	7 羽	※

※文化振興課（平成 30 年度時点生涯学習課）調べ

■ 今後の課題など

- ・ ナベヅルや伝統芸能など郷土の特色ある歴史や文化を伝える文化資源について、活用を図るとともに次世代へ継承するため、調査や保護、多様な文化資源に触れる機会の充実や人材育成が必要です。
- ・ 文化財を総合的に把握して保存と活用を促進するため「文化財保存活用地域計画」の策定が必要です。
- ・ 回天記念館での平和発信の取り組みを含めた本市の特色ある文化資源について、地域づくりや地域経済へ貢献するよう文化資源の発掘やデジタル技術の活用など「文化観光」の推進が必要です。

推進方向 15 読書が育むひとづくり・まちづくり

■ これまでの取組

- ◆ 多様化するニーズに的確に対応するため、資料収集に努めました。
- ◆ 非来館型サービスである「周南市電子図書館」を開始しました。
- ◆ 家庭での読書を促す「うちどくコンテスト」を継続実施しました。
- ◆ 学校図書館の支援に努めるとともに、市内すべての小中学生が電子図書館を利用できるようにしました。
- ◆ 利用者サービスの向上と図書館活動の充実を図るため、周南公立大学との連携を開始しました。
- ◆ 大人からこどもまで親しまれる行事や講座を開催しました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
市立図書館の個人利用者数	318,890 人	350,000 人	271,397 人	※
うちどくコンテスト参加家族数	885 組	1,400 組	585 組	※
子ども向け行事参加者数	2,709 人	3,500 人	3,667 人	※

※ 中央図書館調べ

■ 今後の課題など

- ・ 余暇活動の多様化やデジタル化の進展などから、図書館利用者は減少傾向にありますが、電子図書館など、時代のニーズを取り入れながら、誰もが親しみやすく、利用しやすい図書館サービスを継続的に提供する必要があります。
- ・ 読書はこどもの成長に欠くことのできないものであり、こどもが読書に親しむ環境づくりが必要です。

推進方向 16 人権教育の推進

■ これまでの取組

- ◆ 「山口県人権推進指針」「周南市人権行政方針」の趣旨に沿って、学校、地域社会、企業・職場において人権教育を総合的に推進しました。
- ◆ 学校においては、教職員に向けた人権意識、指導力の向上のための研修の実施を通じ、こどもたち一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう環境を整え、お互いを尊重する指導を行いました。
- ◆ 地域社会においては、様々な人権課題をテーマに、各地域での「ハートフル人権セミナー」や、地域のリーダーを育成する「人権ステップアップセミナー」を実施するとともに、市内 10 ブロックでの人権講演会等の開催を支援しました。
- ◆ 企業・職場においては、周南市企業職場人権連絡協議会を中心に、自主的な人権研修会を実施するとともに、企業・職場への講師派遣、人権啓発 DVD 等の貸出を行いました。
- ◆ オリジナル動画「おうちで学ぶ人権講座」3 本立てを市ホームページで配信し、市民の自主的な学習活動を支援しました。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績	
ハートフル人権セミナーへの新規参加者	48.9%	55.0%	59.2%	※
ブロック別人権講演会参加者の年間延べ人数	3,135 人	3,500 人	3,349 人	※

※ 人権教育課調べ

■ 今後の課題など

- ・ インターネット上での人権侵害をはじめ、こども、高齢者、障害者、外国人、性的マイノリティなど様々な課題が多様化・複雑化する中で、人権尊重の視点を踏まえた一層の教育・啓発の推進が求められています。
- ・ 人権講座や研修会では、参加者が固定化・高齢化の傾向にあることから、新規の参加者をはじめ、より多くの市民が参加しやすい実施手法の検討や内容の充実・見直しを行う必要があります。

推進方向 17 まちづくりを担うひとづくり

■ これまでの取組

- ◆ 市民一人ひとりが学びを通じて自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることを支援するため、積極的な情報提供や現代社会のニーズに合った講座の開催し、生涯学習の拠点である学び・交流プラザを中心に市民センター等と連携し生涯学習活動の機会を提供しました。
- ◆ 学び・交流プラザにおいて、定期利用団体をはじめとする多数の団体や個人に自主的・継続的な学習活動の場を提供するとともに、講座受講生からなる「学びサポーター」の実践活動となる講座を開催した。

■ 成果指標

指標	平成 30 年度	令和 6 年度目標	令和 5 年度実績
(推進方向 6 再掲) 放課後子供教室の協働活動サポーター数	380 人	450 人	383 人
(推進方向 6 再掲) 家庭教育支援チーム数	4 チーム	6 チーム	7 チーム
(推進方向 7 再掲) 小学生、中学生、高校生等のボランティア・地域活動への参加者数	17,876 人	20,000 人	6,911 人
(推進方向 11 再掲) 市民センター等及び学び・交流プラザでの生涯学習講座開催件数	217 件	250 件	257 件
(推進方向 11 再掲) しゅうなん出前トーク利用件数	423 件	450 件	309 件
(推進方向 11 再掲) 学びサポーター※登録者数	55 人	100 人	53 人

第3期教育大綱策定にかかるアンケート回答一覧

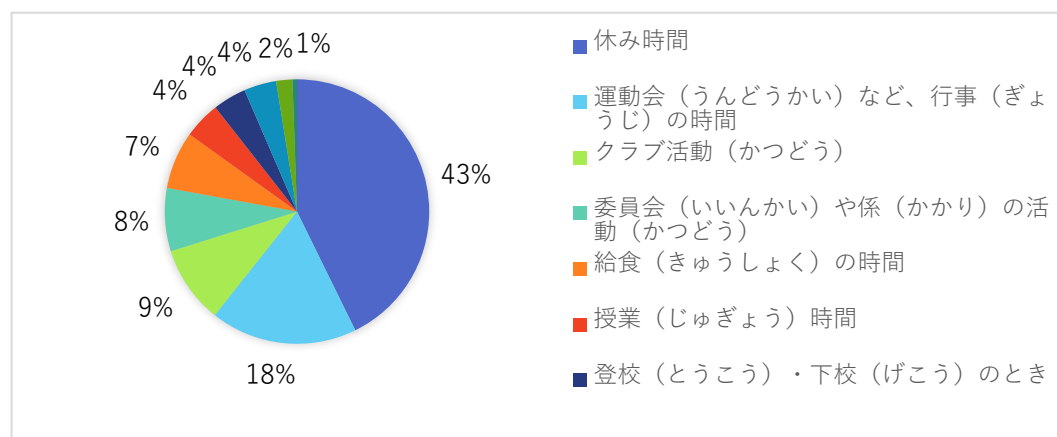
第3期教育大綱策定の基礎資料とするため、令和6年4月から6月にかけて、小学生・中学生・15歳以上の市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

※自由記述の内容はご回答いただいた原文のまま掲載しております。

アンケート対象：小学5年生

回答率 94%（915名/971名）

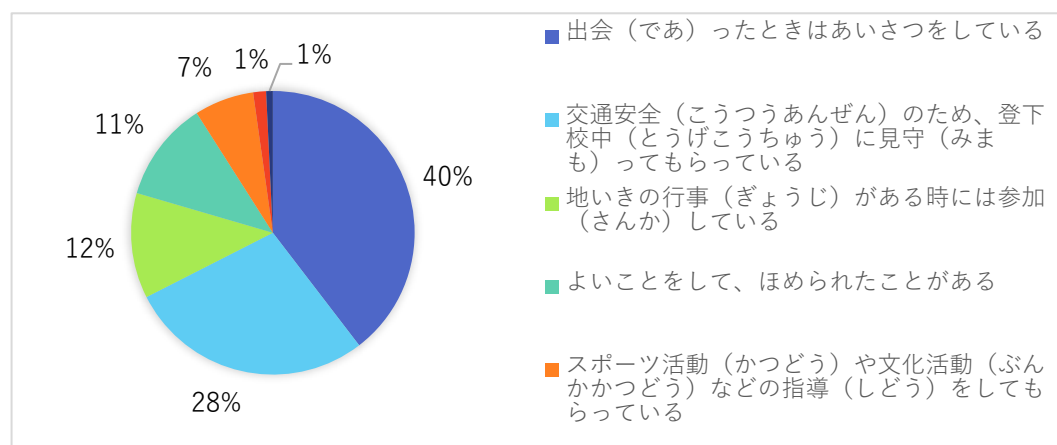
質問① 毎日の学校生活で、いちばん楽しいと感じるときはいつですか？



自由記述の内容

先生や、みんなと会う時間・社会見学や修学旅行・友達と喋ったり遊んだりする時・1人で居る時間・授業の理科・放課後・テストで満点をとった時・水泳・全部・みんなという時・友達と遊べる時（クラスが別だったから）寂しい・下校の時だけ・家に帰ってゲーム・読書をしているとき・友達や先生と話す・昼休み・吹奏楽部・歌うとき・ない理由は学校が嫌いだから・家・体育・めっちゃ楽しいと思えない

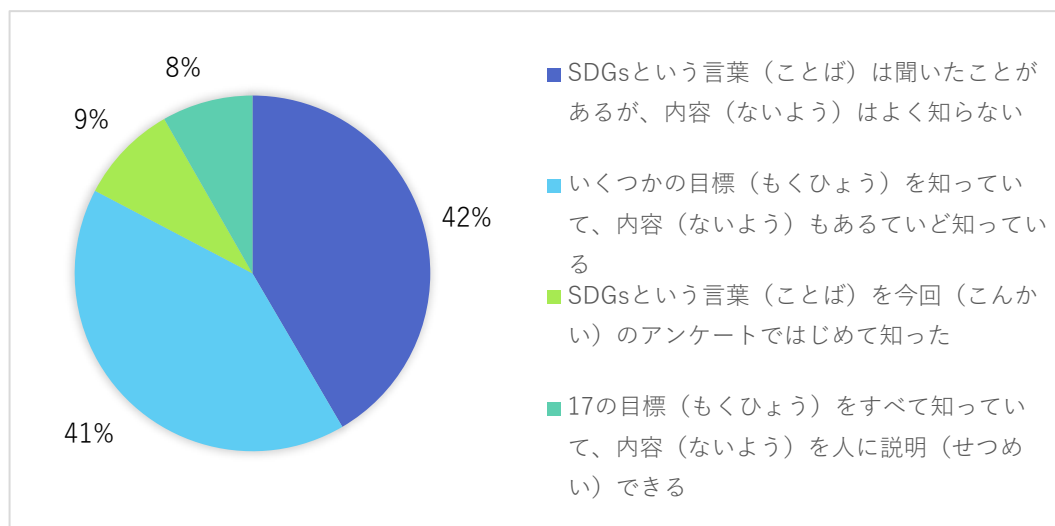
質問② あなたはふだん地いきの大人とどのように接していますか？



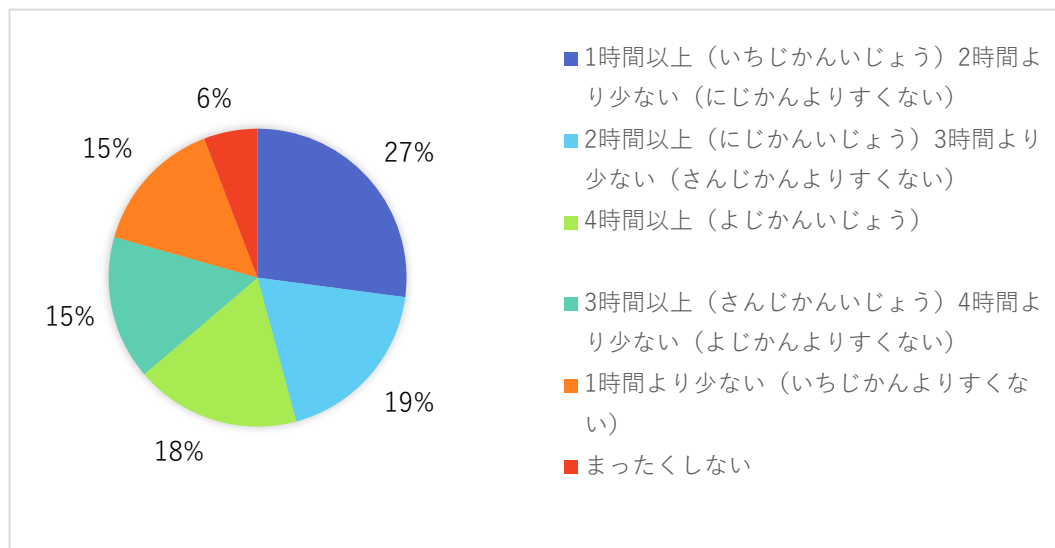
自由記述の内容

気持ちく挨拶を返してくれる・あったことがない・あわない・特にない・していなかった・いつも接していない・車で登校するので関わってない・ない・挨拶したくても言えなくて会釈しかできない・出会った時に話しかけられる時がある・誰と行くか聞かれたことがあります登下校時あととうげこういがいにであつたらあいさつしましたあととうげこういがいにであつたらあいさつしました・全て

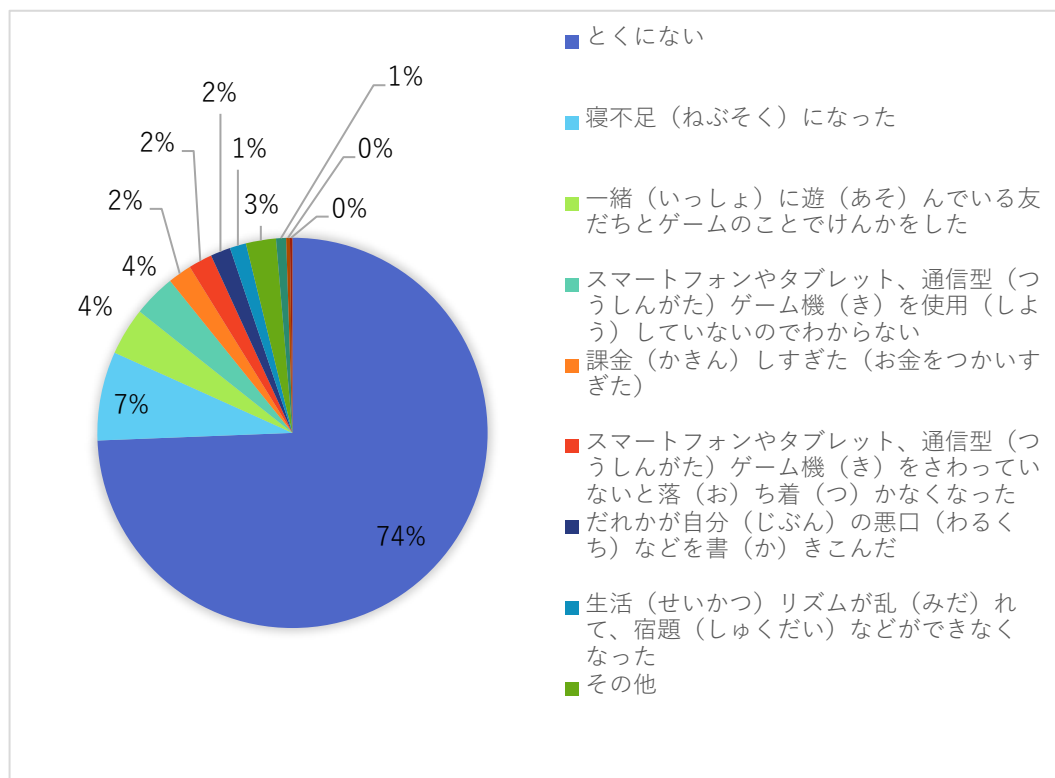
質問③ あなたは SDGs について、知っていますか？



質問④ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンのゲームを含む）をしますか？



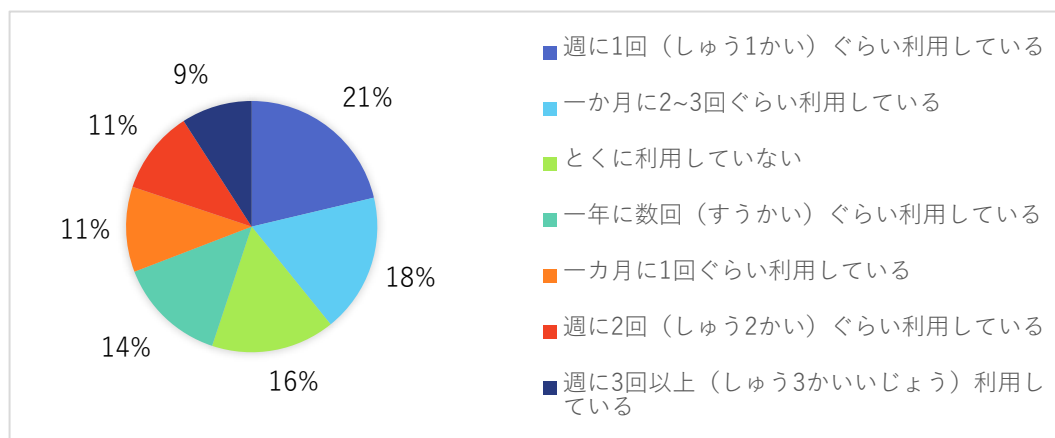
質問⑤ スマートフォンやタブレット、ゲーム機などについて、いやなことやトラブルなど、次のようなことがありましたか？



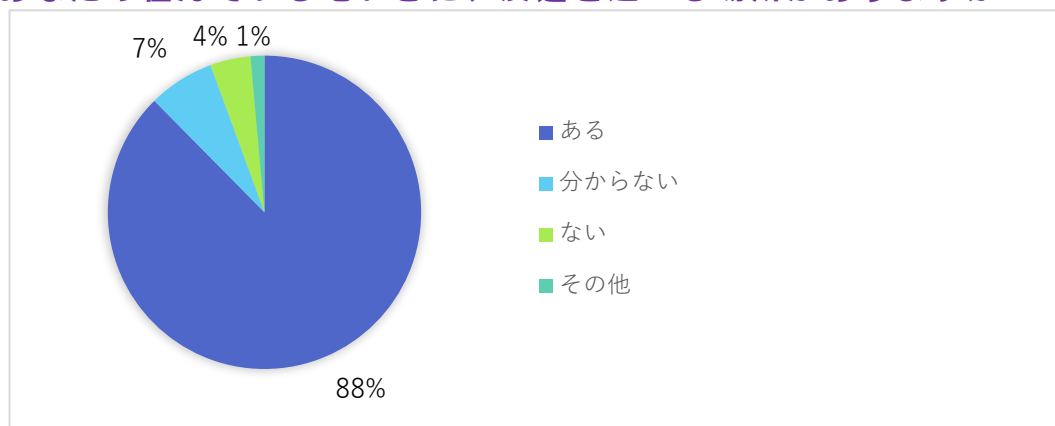
自由記述の内容

先に終わらすと弟がゲームに夢中になって宿題ができなくなる・スプラ3で煽られた・先にゲームをしてしまうとゆう事がある・スマホなどを持っていない・ゲームプレイの悪口を言われた・私は、スマートフォンやタブレットを使わないから、トラブルはないから・煽られた・知らない人に悪口を書かれた・東方異形鏡をみて怖くなったことがありますことがありますあとアンチをされている人がいて可哀想だなとみているとコメントでアンチがコレをみてる人をぴーとひどくうっててところがきずつきました・ゲームで煽ってきたり、暴言を吐かれたりした・視力がちょっと悪くなった・切断しまくった

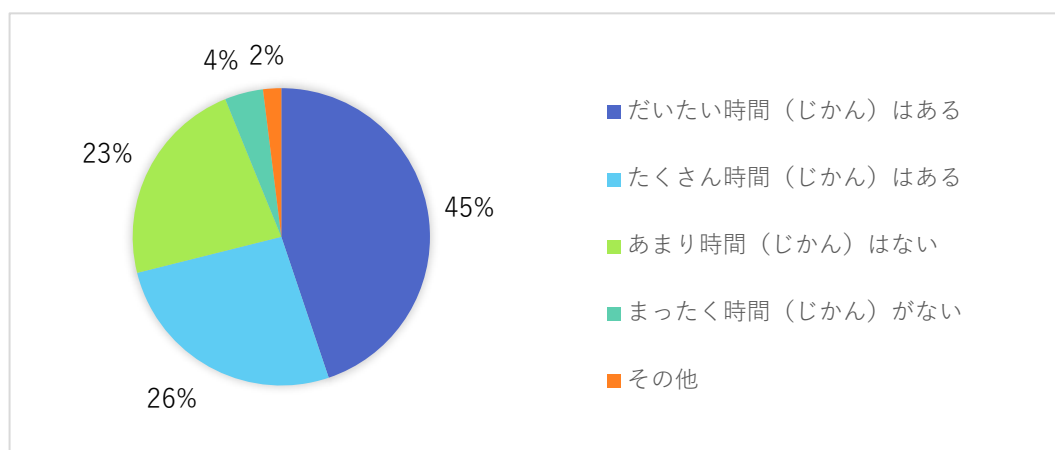
質問⑥ 学校の授業以外で、学校図書館・図書室をどのくらい利用していますか？



質問⑦ あなたの住んでいる地いきに、友達と遊べる場所がありますか？



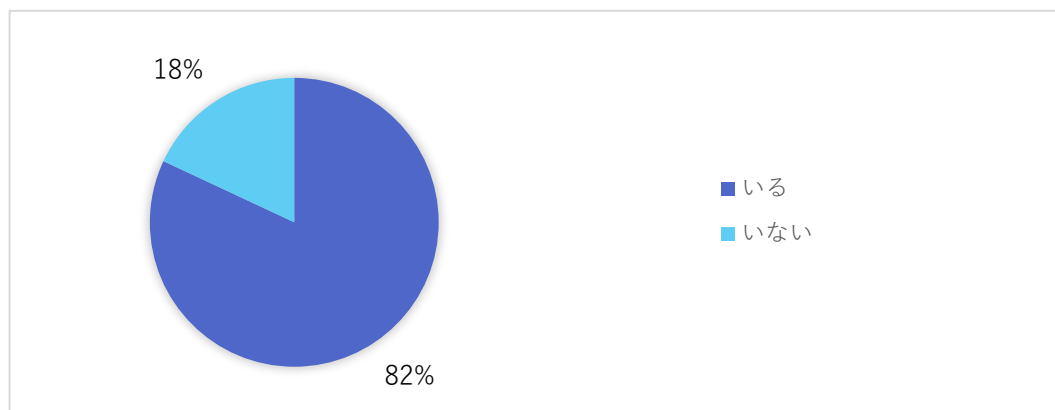
質問⑧ 学校外で遊ぶ時間はどれくらいありますか？



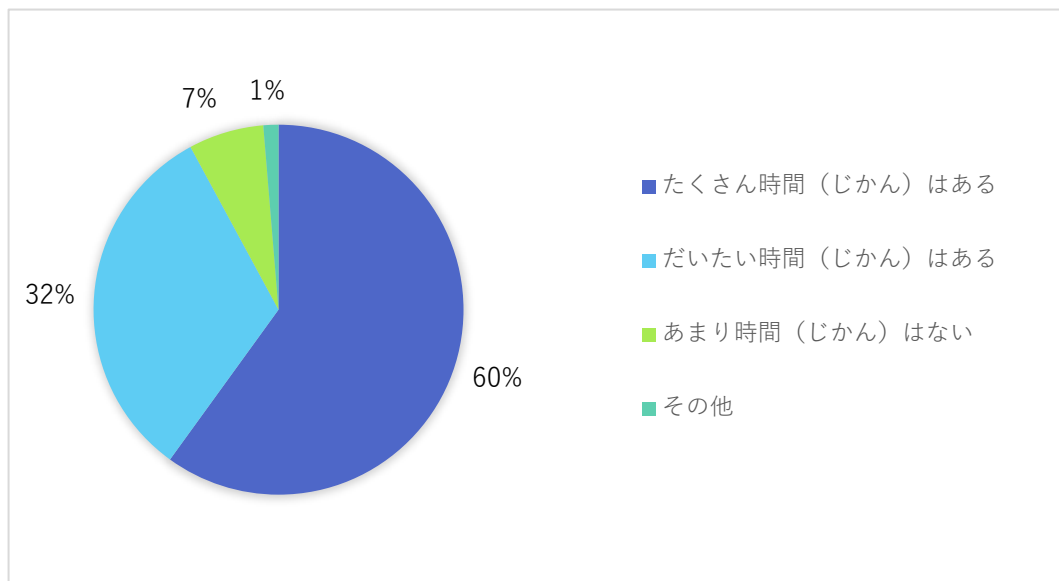
自由記述の内容

児童あまり遊べない・あるのはあるけど遊ばない・習い事で毎日遊ぶことはできていないが、友達とLINEしたり、ビデオ電話はかけたりしている。・少しある時もあれば、ない時もある。日によって違う。・そもそも外に出ない。・ある時とない時がある・遊べる日もあるし、遊べない日もある。遊べる日は少し短いです。・ない・公園で遊ぶことがない。・さそってくれたら行く・たまにたくさん時間ある・時による・平日はあまり無いが休日はだいたいある

質問⑨ 不安や悩みがあるときに、相談する相手はいますか？



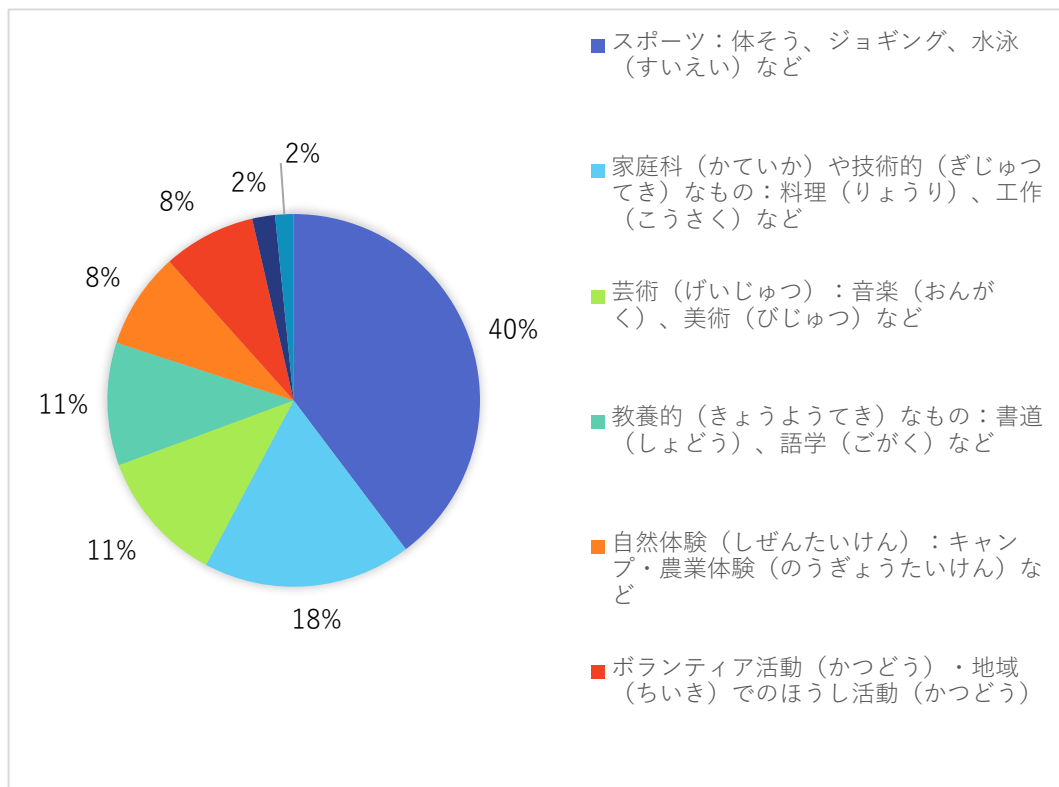
質問⑩ 家族と過ごす時間がありますか？



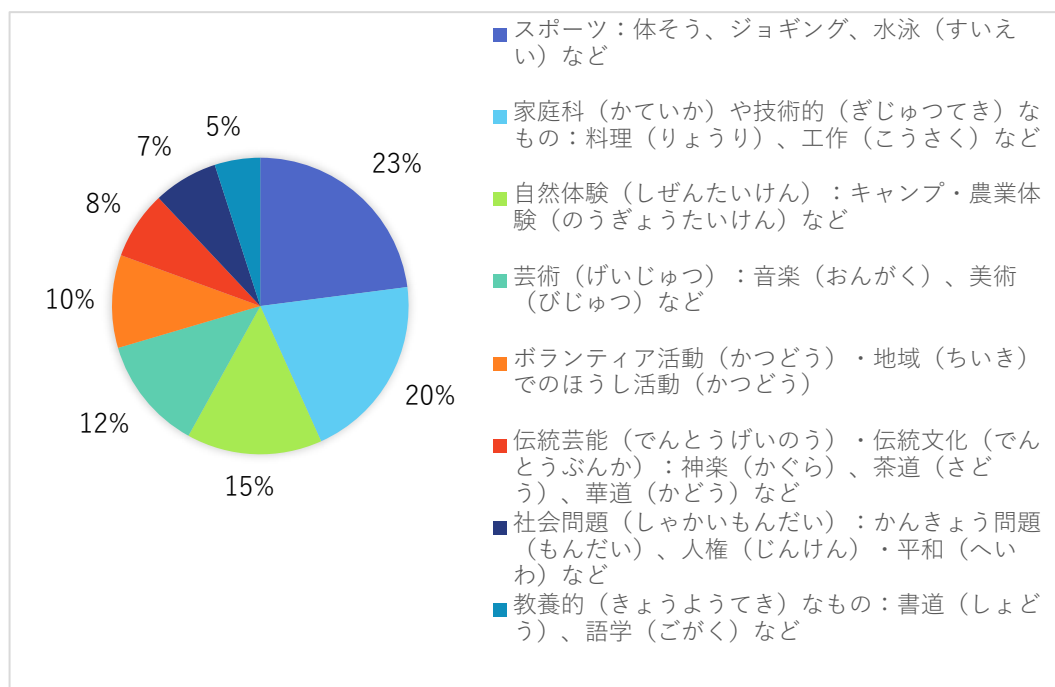
自由記述の内容

自分はあるが、父、母、姉、に時間がない・まったく時間がない・一緒に住んでいる・時による

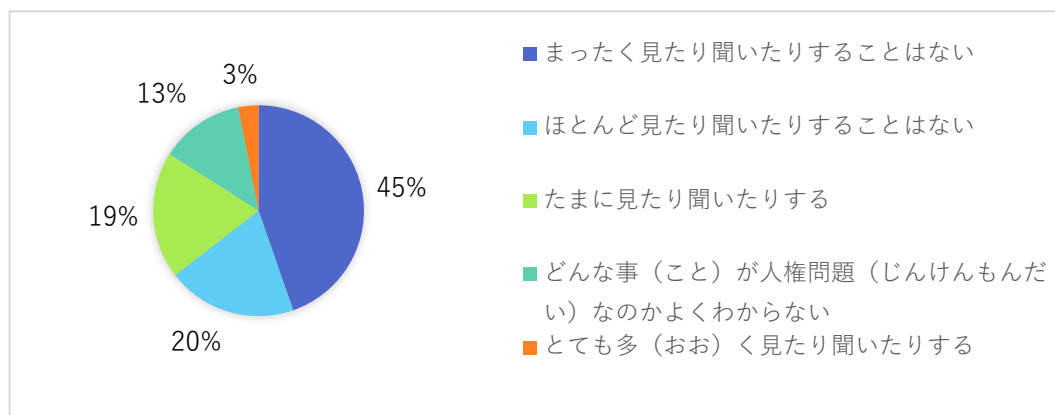
質問⑪ この一年間で、放課後や休日に、つぎのような活動をしたことがありますか？



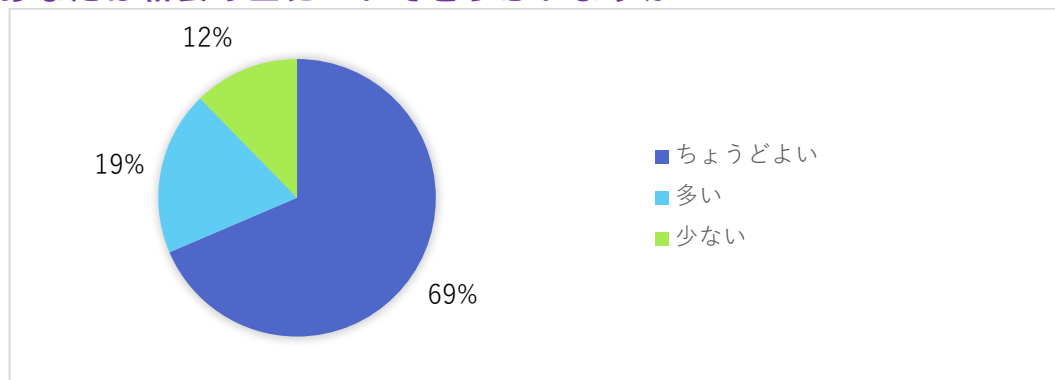
質問⑫ 今後、放課後や休日にどのような活動をしてみたいですか？



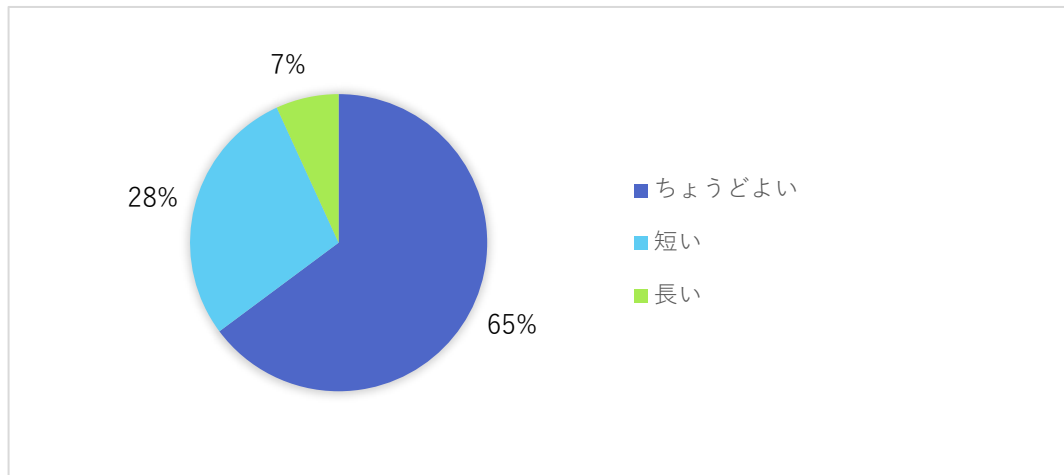
質問⑬ 日常生活やインターネット上（SNS もふくみます）で、差別や悪口など人権問題と感じられることを見たり、聞いたりしたことはありますか？



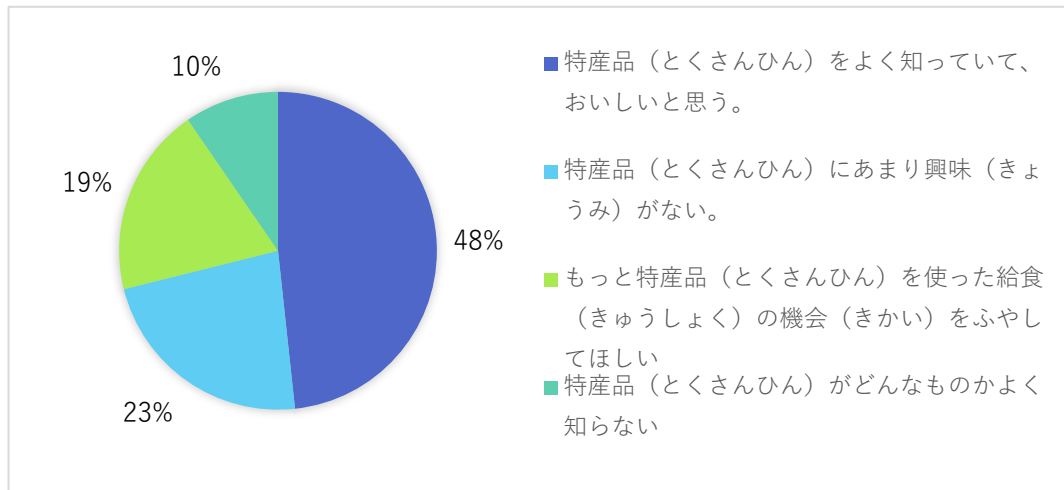
質問⑭ あなたは給食の量についてどう思いますか？



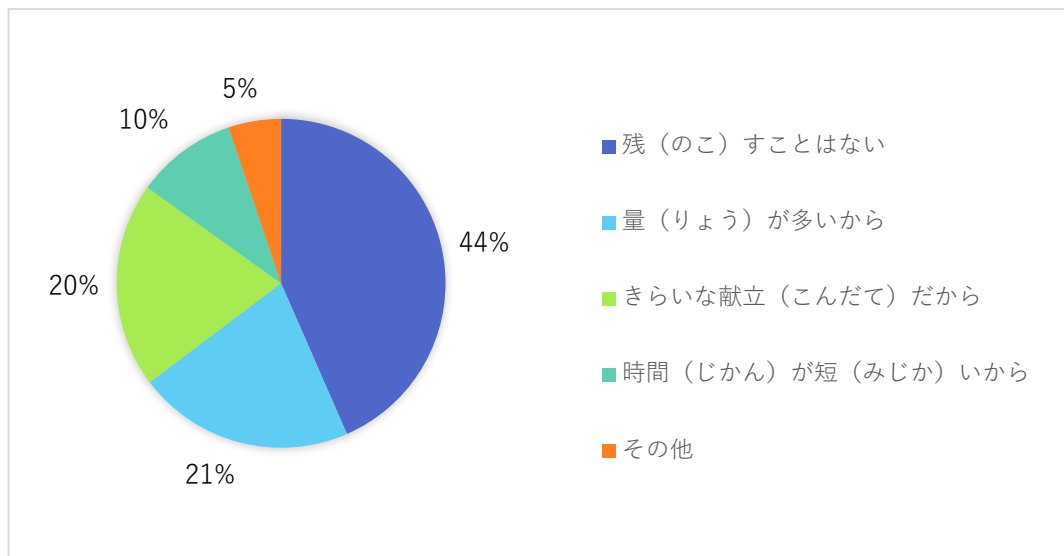
質問⑮ あなたは給食を食べる時間をどう思いますか？



質問⑯ あなたは、周南市の特産品（タコ、ハモなど）を使った給食をどう思いますか？



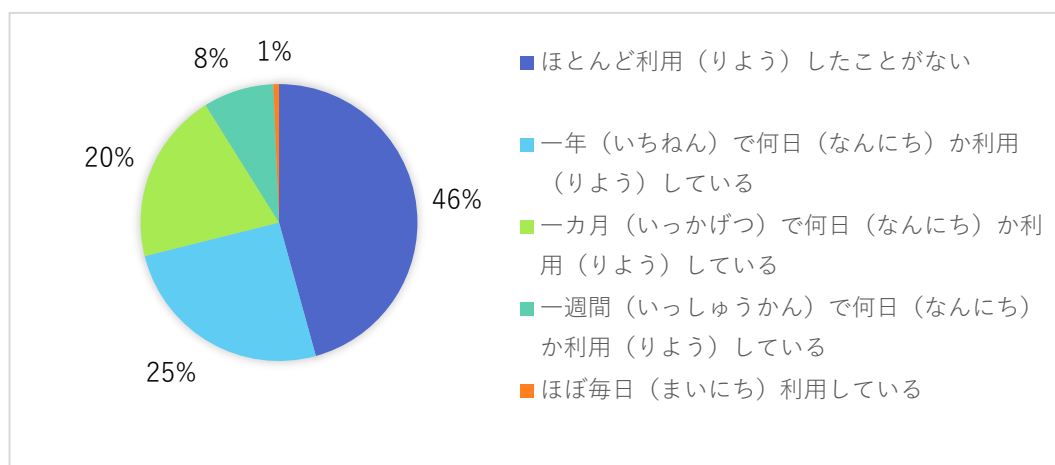
質問⑰ あなたが給食を残すときは、どんな理由ですか？



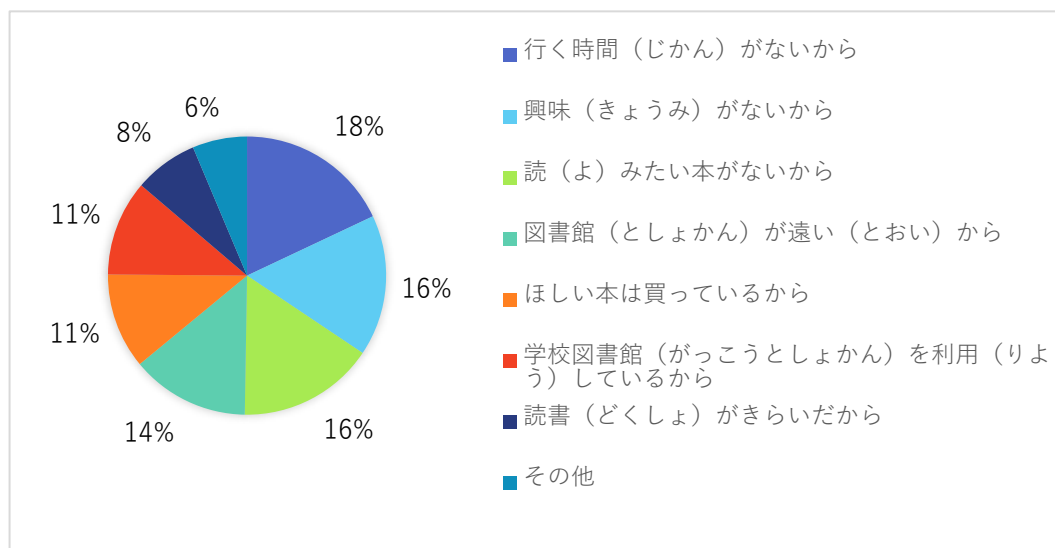
自由記述の内容

たまに残す時がある気持ち悪くなったりするから・食欲が無いから・放送に行っていたから・食べた頃には、13時10分ぐらいの時があった（残した時）・体調が悪い時があったから・口の中が痛い時・里芋があるから・吐き気がするなど具合が悪くなったり、アレルギーなどで残したことがある・時間が少なく量が多いから・牛乳が嫌いだから・ADHDでその自分の担当の医師からこの薬飲んでと言われてその薬の副作用で食欲が落ちる物だから・食欲がないから・時間内に食べ切れなかったから・友達といっしょに食べたくない・量が多くて時間に間に合わないから・歯の矯正をしていてもちやかたいものをお医者さんに「食べてはいけない」と言われているから・ボーとしてしまう・減らしてほしいと、いう人が居るから・委員会・お腹の調子

質問⑱ あなたは公共の図書館をどのくらい利用していますか？



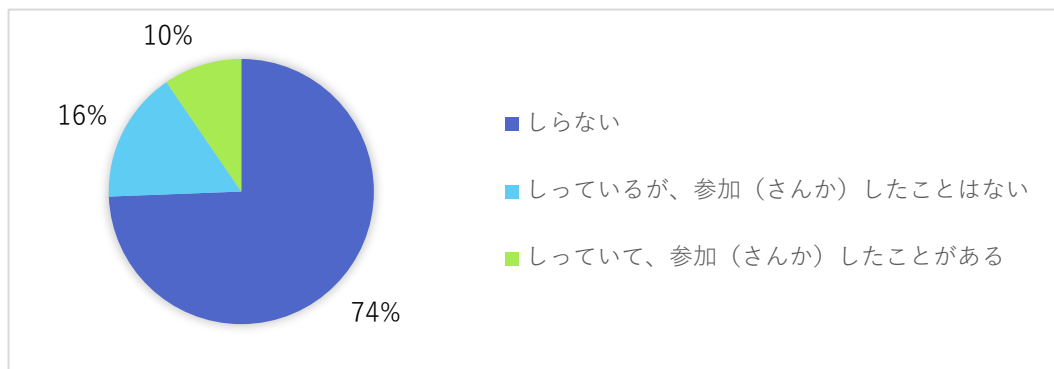
質問⑲ 図書館を利用しない理由をえらんでください。



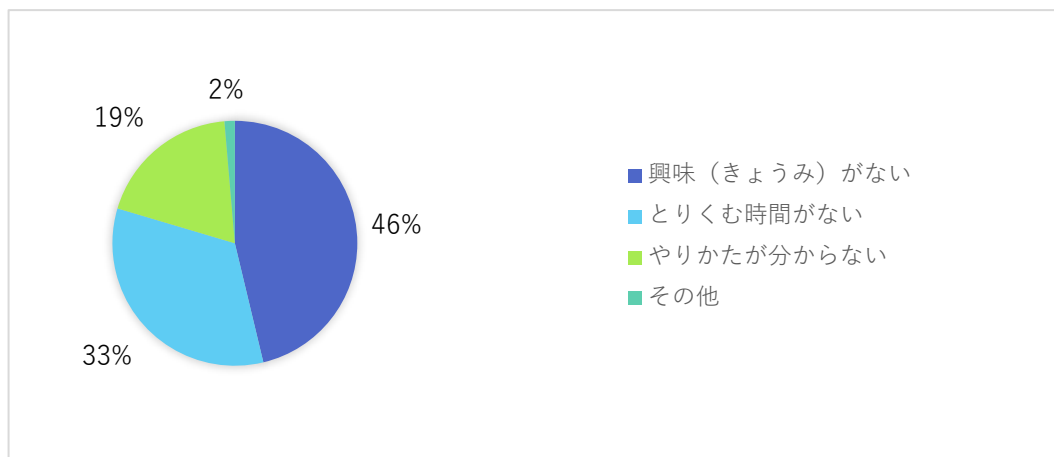
自由記述の内容

小説と絵本しかないから・利用しています。・ひっこしで来たばかりだから・分からないから・日曜日に時々本を借りている・全て・徳山駅前図書館に行っているから・行くのがめんどくさい・行こうと思うことがあまりないから・読みたい本をかってくれないから・連れてってくれない・公共図書館がまずどこにあるか分からない

質問⑳ あなたは「うちどくコンテスト」を知っていますか？



質問㉑ うちどくコンテストに参加したことはない理由は何ですか？



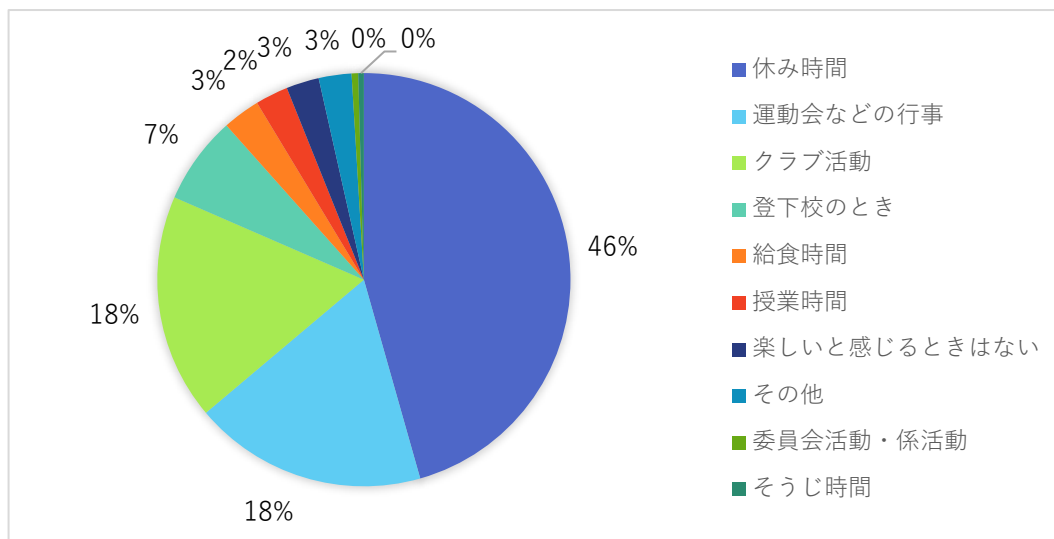
自由記述の内容

本は一人で静かに読みたい・本は好きだけどいつも夏休みとかで宿題が多くてやる気が出ない

アンケート対象：中学 2 年生

回答率 96%（1042 名/1091 名）

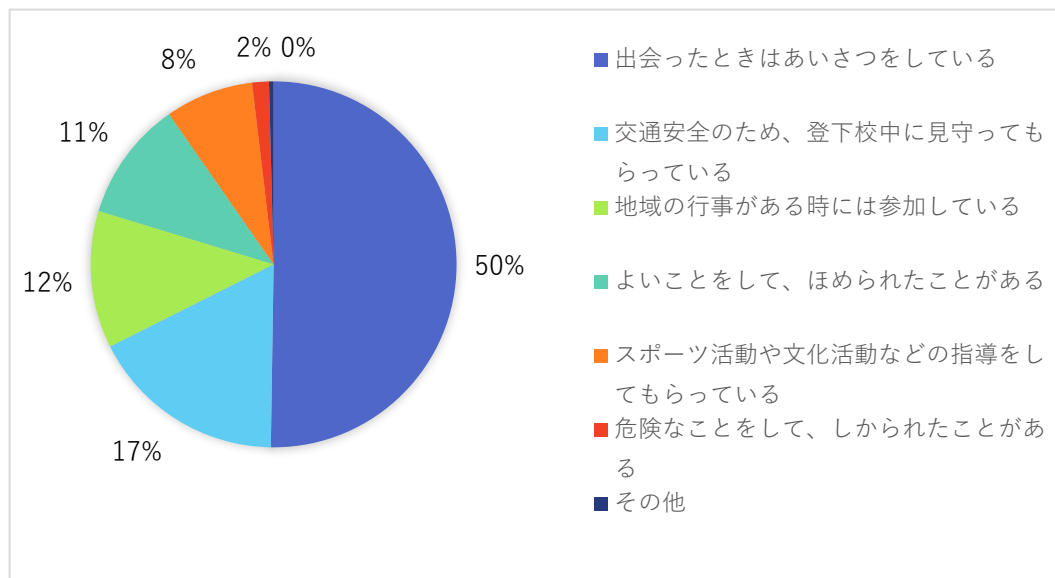
質問㉒ 毎日の学校生活で、一番楽しいと感じるときはいつですか？



自由記述の内容

下校時・下校のとき・行事で部活紹介などをするとき・部活・ほぼすべて・部活動・友達と話している時・友達と話してるとき・友達と話したり遊んだりする時。・生徒会・友達と仲良く楽しく話した時・全部・保体・学校生活自体が楽しい・帰りの会・好きな先生と話す時

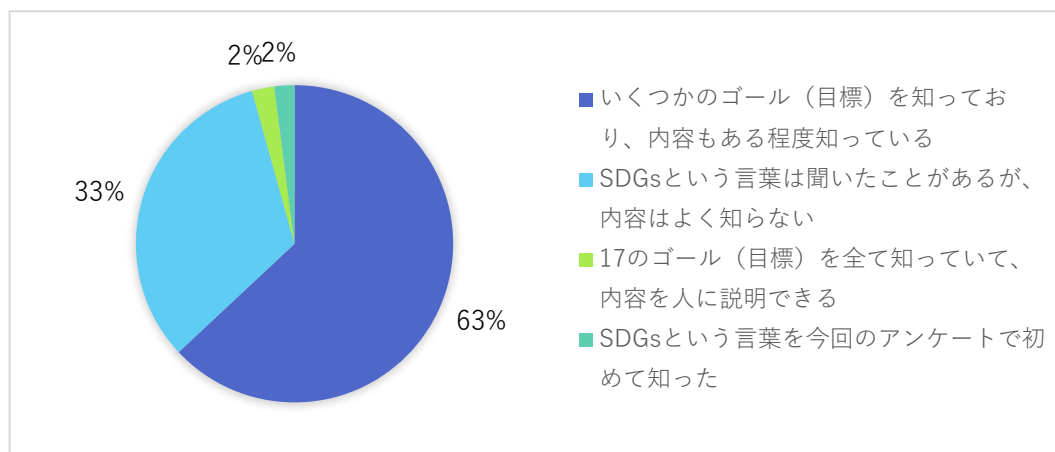
質問② あなたはふだん地域の大人とどのように接していますか？



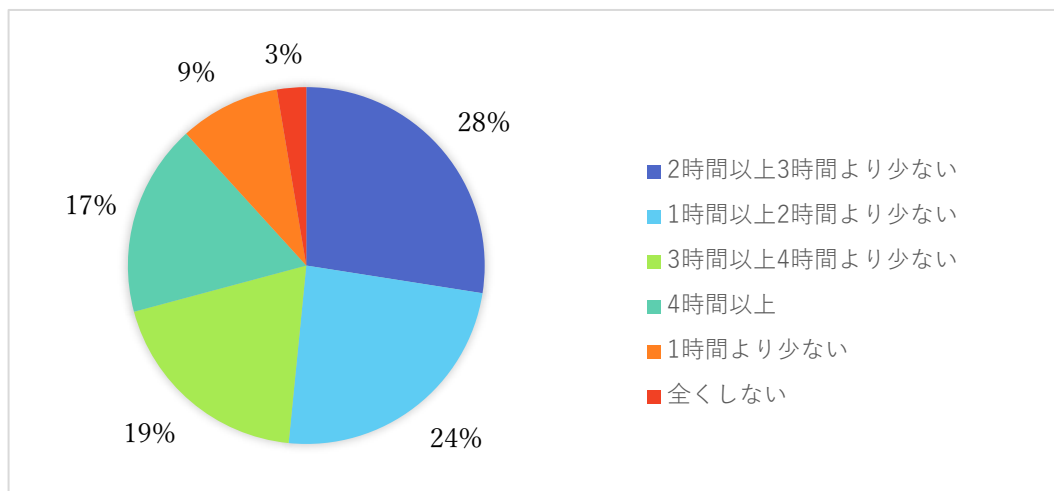
自由記述の内容

スポ少で出会って野球をする・何もしていない・声をかけられた時だけ挨拶をしている。・接したことがない・話すことがない・何もしない・あまり外に出ないから、地域の人に会わない・不快感を与えないように気を使っている。

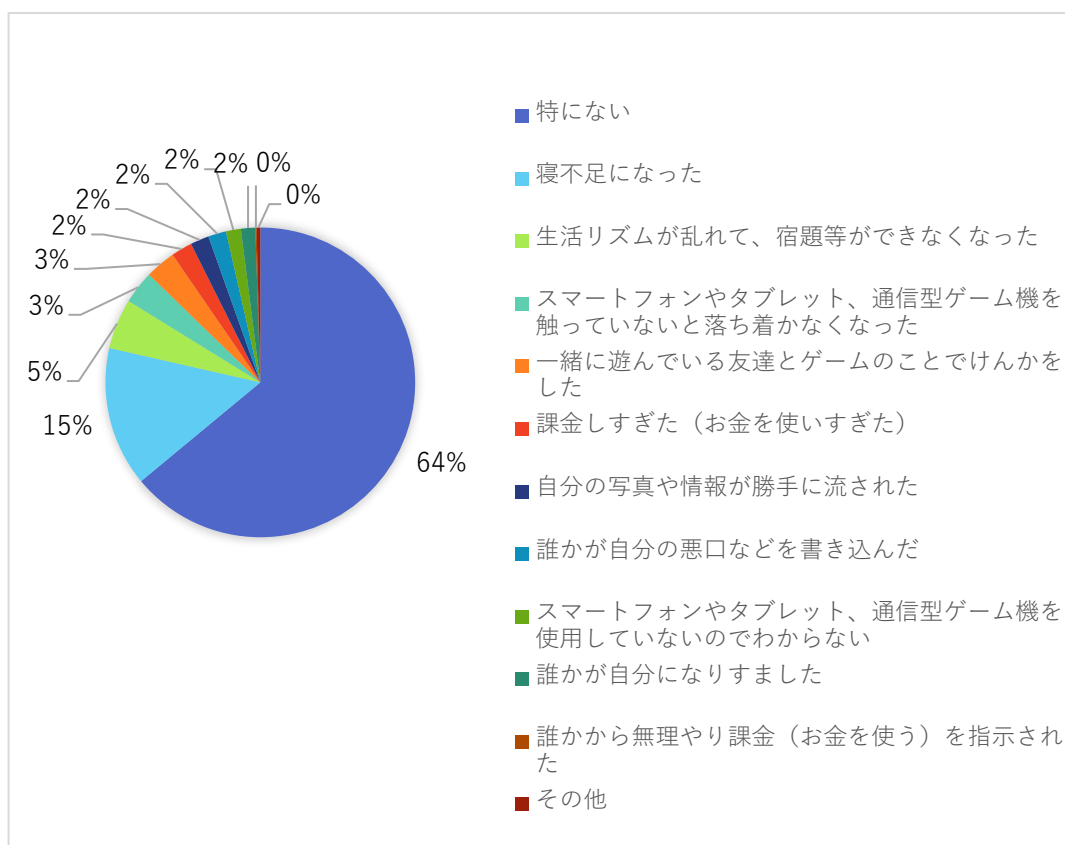
質問③ あなたは SDGs について、知っていますか？



質問④ 月曜日から金曜日、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか？



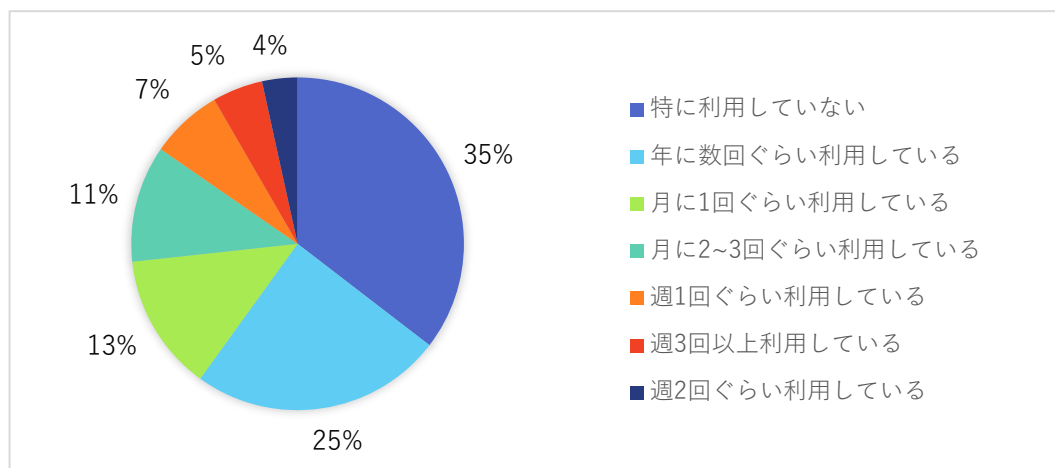
質問⑤ スマートフォンやタブレット、ゲーム機などについて、いやなことやトラブルなど、次のようなことがありましたか？



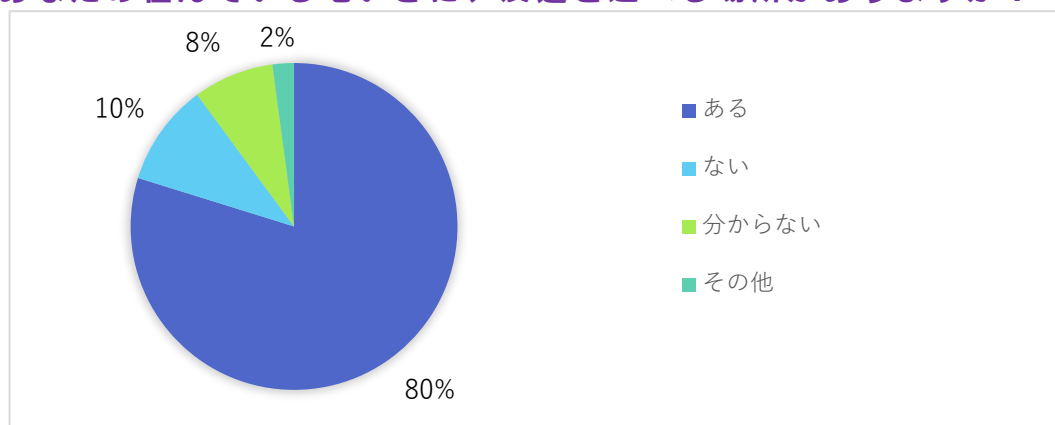
自由記述の内容

どこかの誰かに煽られた・煽られた・住所がバレた・視力が A から B に落ちた・知らない人とつながった

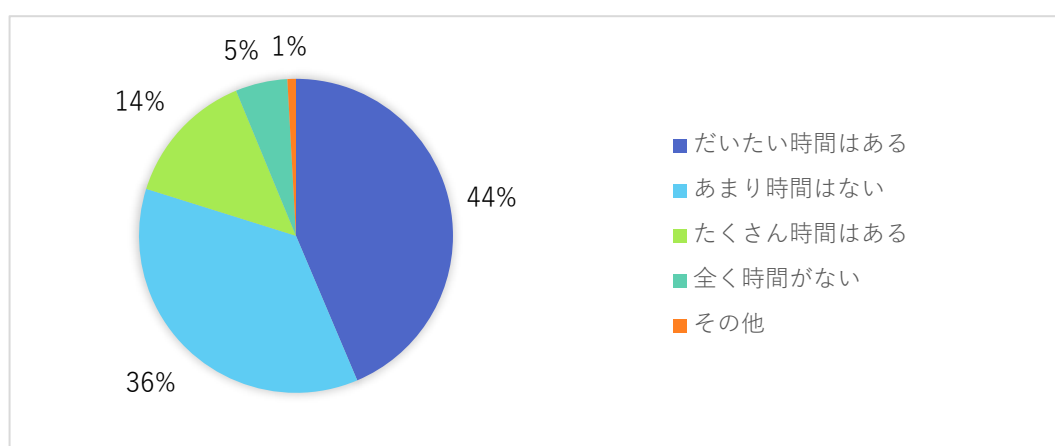
質問⑥ 学校の授業以外で、学校図書館・図書室をどのくらい利用していますか？



質問⑦ あなたの住んでいる地いきに、友達と遊べる場所がありますか？



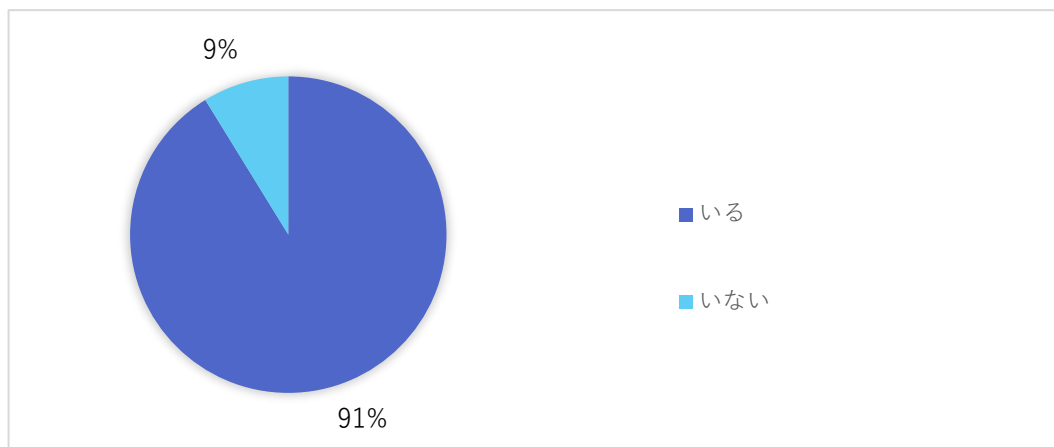
質問⑧ 学校外で遊ぶ時間はどれくらいありますか？



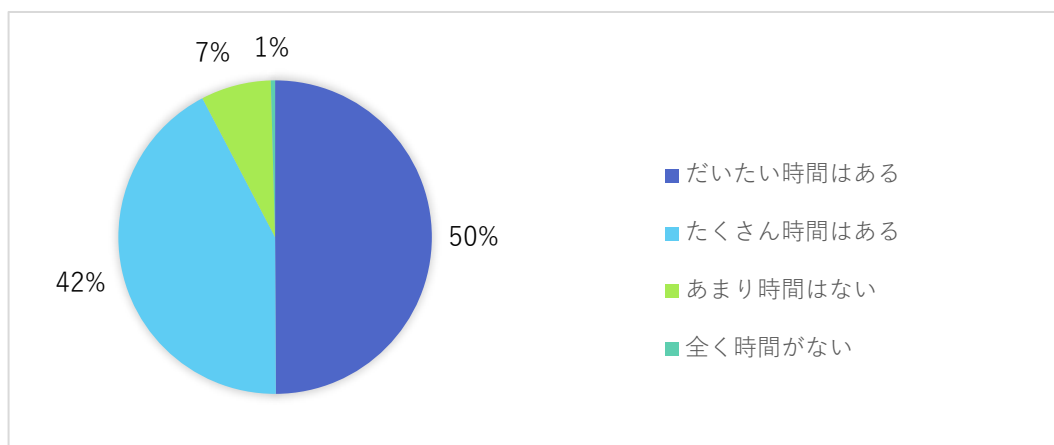
自由記述の内容

平日は全く時間がない、休日・祝日はたくさん時間がある・学校外で遊ばない・休日だとあるが平日は、あまり無い・日によって違うが、だいたい時間はある・学校外では遊ばない・土日だけある・そもそもあまり友達と学校外で遊ばない・遊ぶ気がない・時と場合による

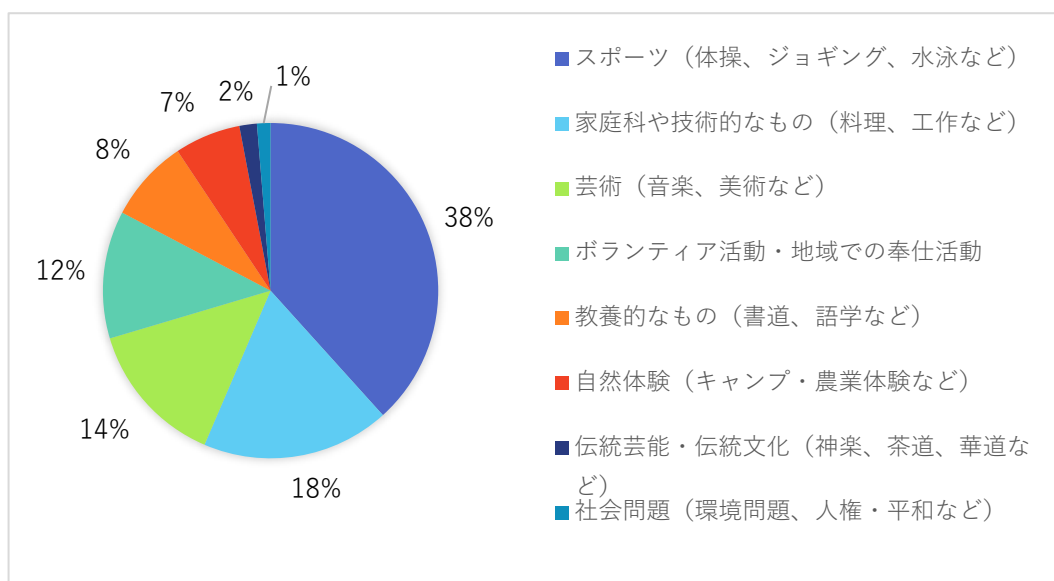
質問⑨ 不安や悩みがあるときに、相談する相手はいますか？



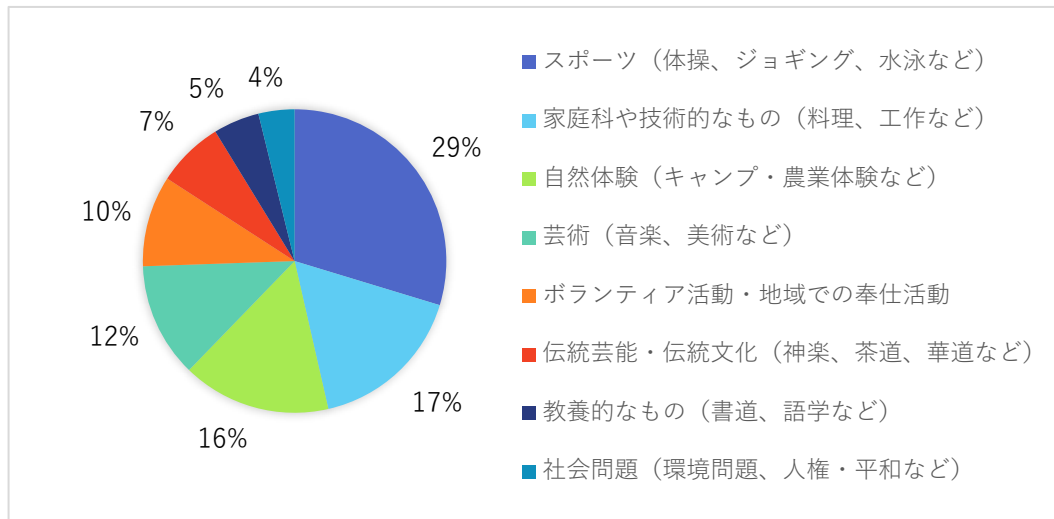
質問⑩ 家族と過ごす時間はありますか？



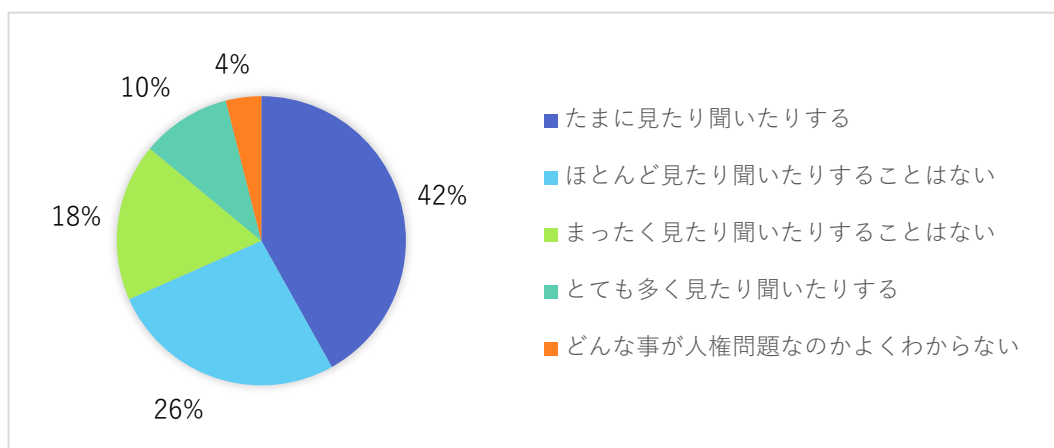
質問⑪ 過去 1 年間に、放課後や休日に、次のような活動をしたことがありますか？



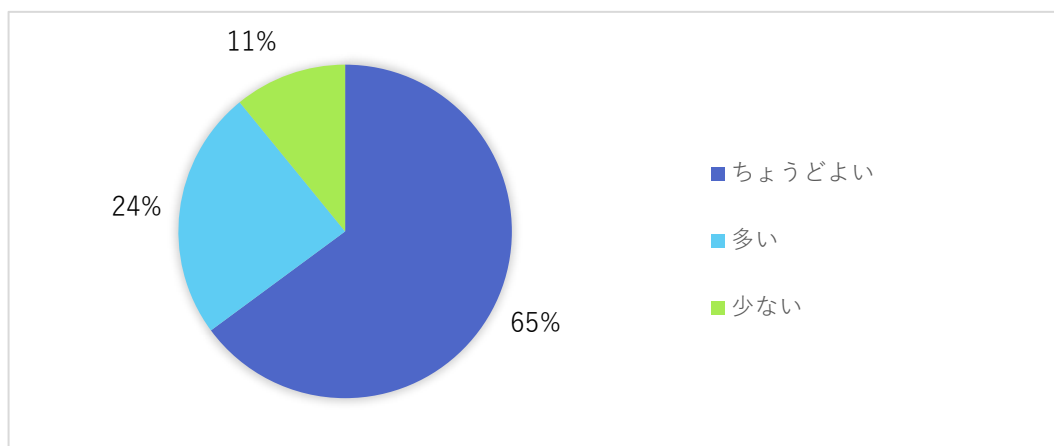
質問⑫ 今後、放課後や休日にどのような活動をしてみたいですか？



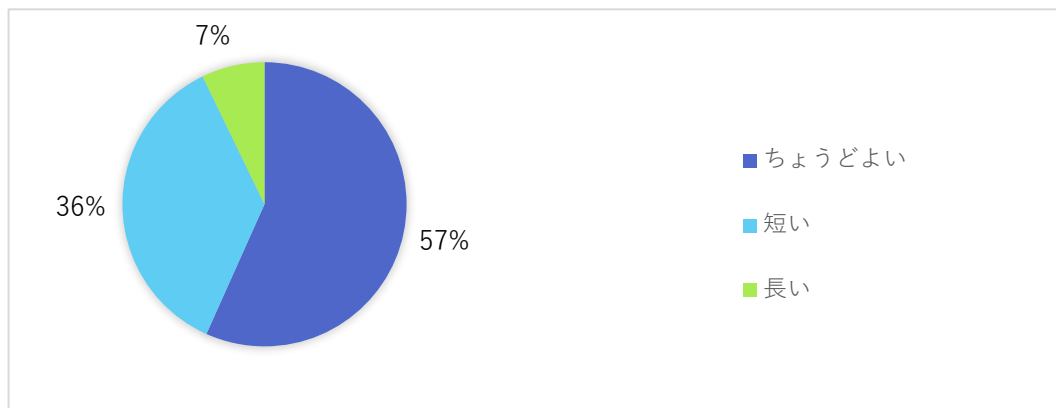
質問⑬ 日常生活やインターネット上（SNS もふくみます）で、差別や悪口など人権問題と感じられることを見たり、聞いたりしたことはありますか？



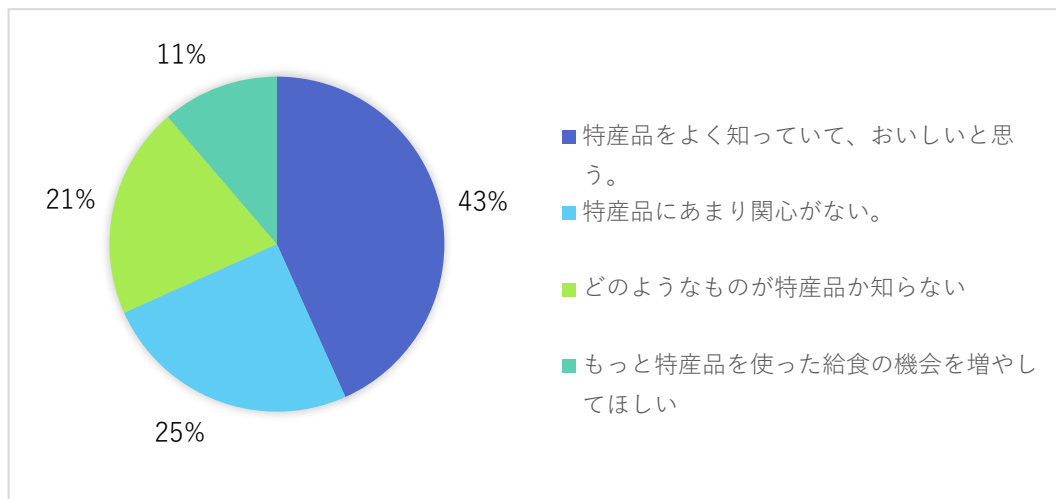
質問⑭ あなたは給食の量についてどう思いますか？



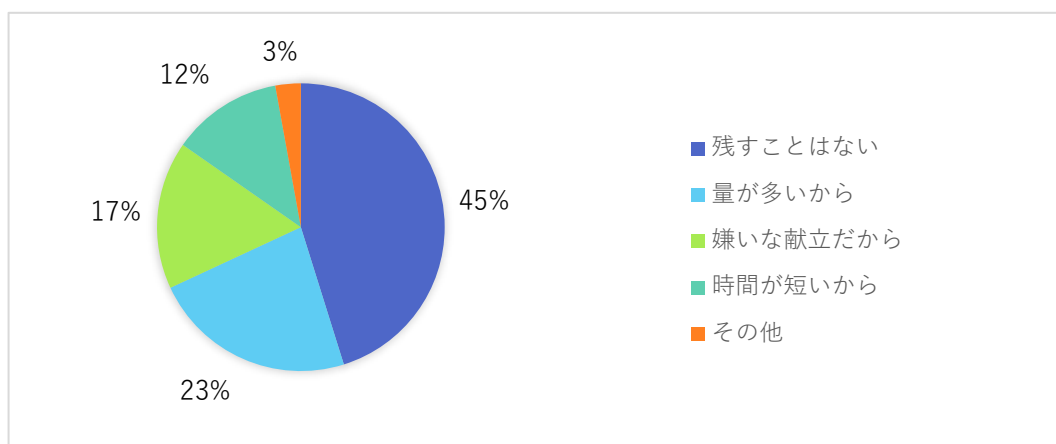
質問⑮ あなたは給食を食べる時間をどう思いますか？



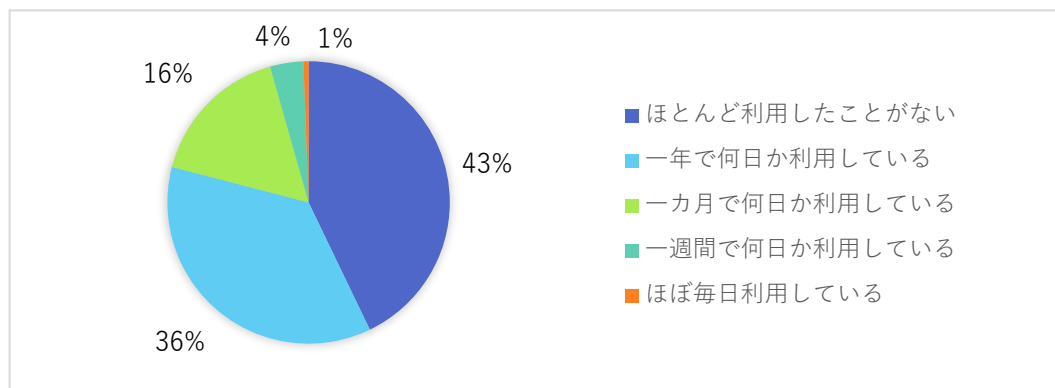
質問⑯ あなたは、周南市の特産品（タコ、ハモなど）を使った給食をどう思いますか？



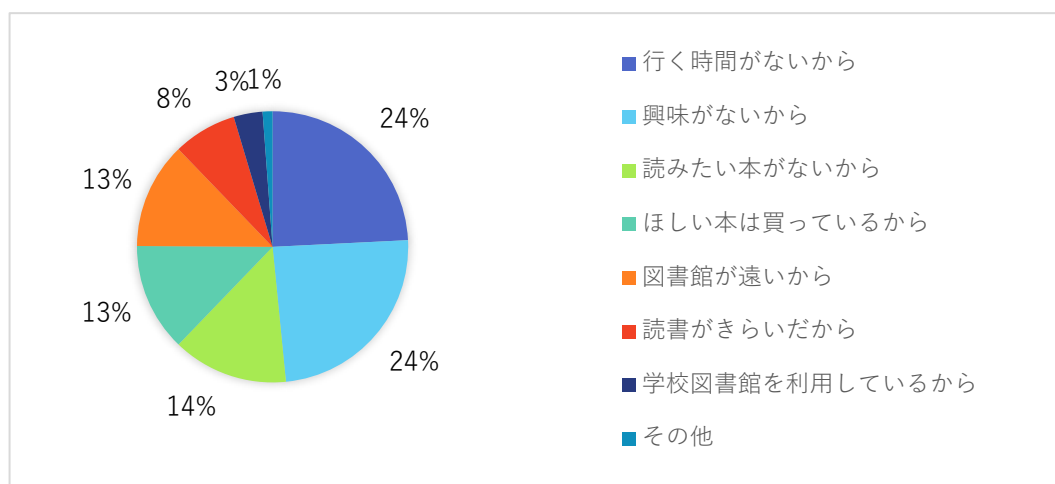
質問⑰ あなたが給食を残すときは、どんな理由ですか？



質問⑱ あなたは公共の図書館をどのくらい利用していますか？



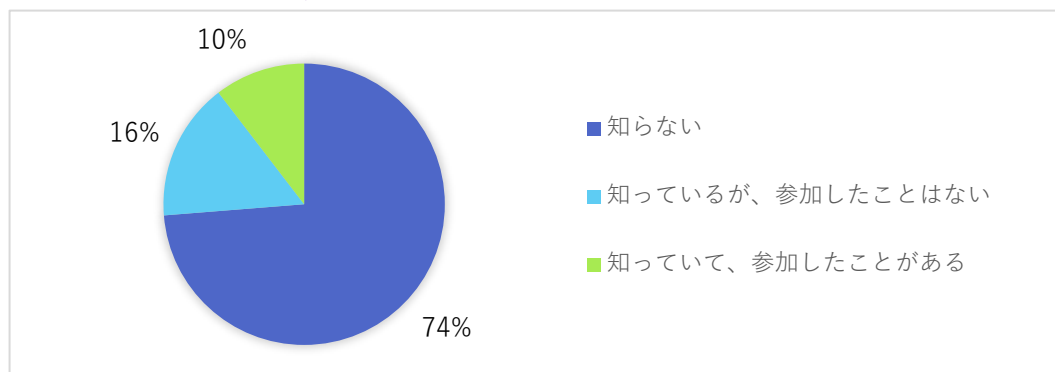
質問⑲ 図書館を利用しない理由をえらんでください。



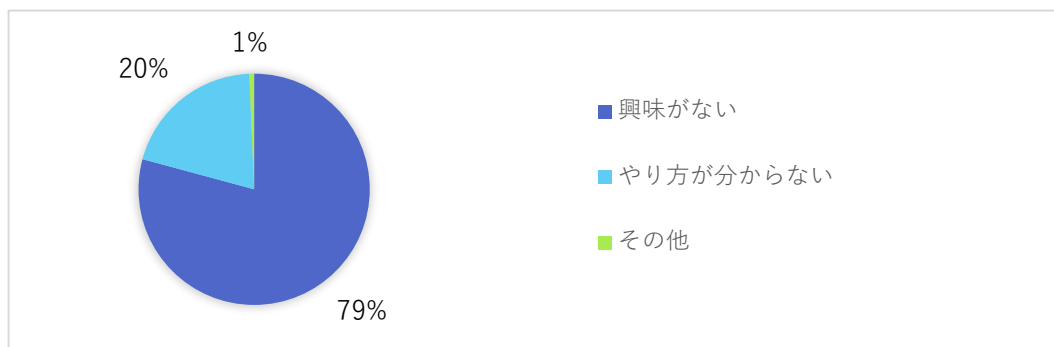
自由記述の内容

平日は全く時間がない、休日・祝日はたくさん時間がある・学校外で遊ばない・休日だとあるが平日は、あまり無い・日によって違うが、だいたい時間はある・学校外では遊ばない・土日だけある・そもそもあまり友達と学校外で遊ばない・遊ぶ気がない・時と場合による

質問⑳ あなたは「うちどくコンテスト」を知っていますか？



質問②1 うちどくコンテストに参加したことはない理由はなんですか？



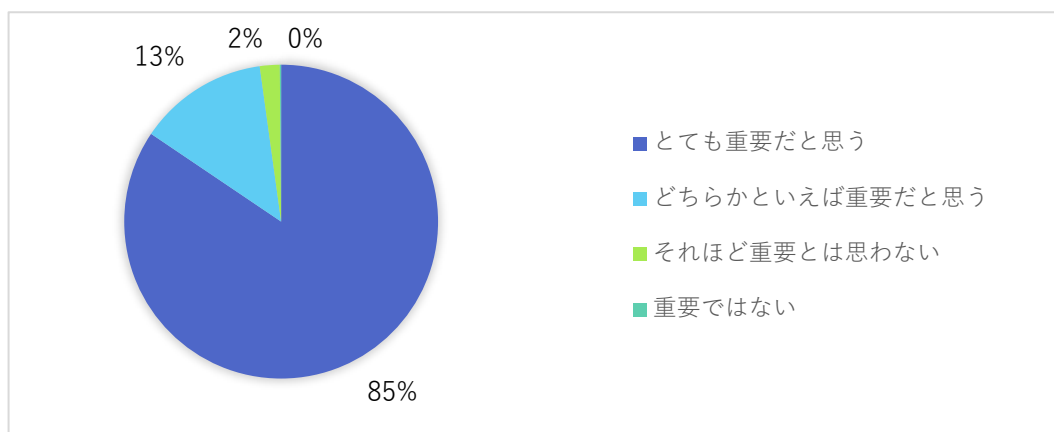
アンケート対象：15 歳以上の市民

回答率 37%（742 名/2000 名）

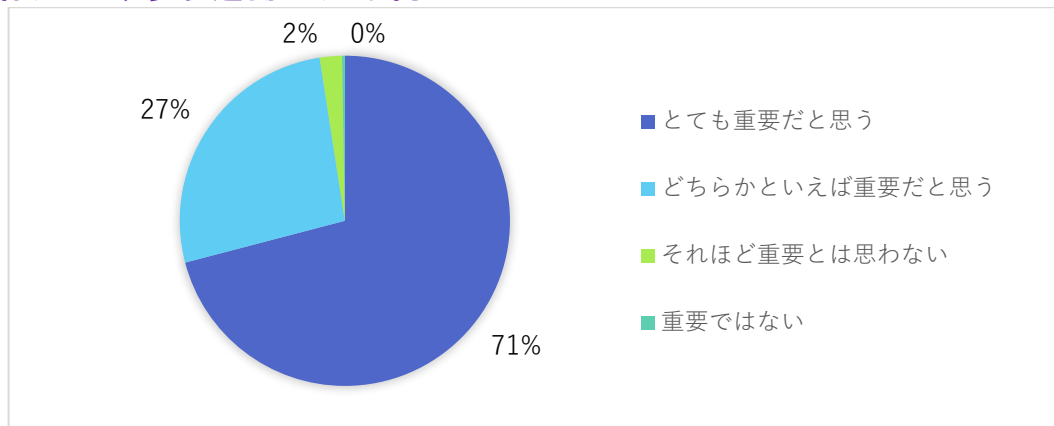
小中学校教育において以下の事柄の重要性についてお尋ねします。

（質問①～⑦）

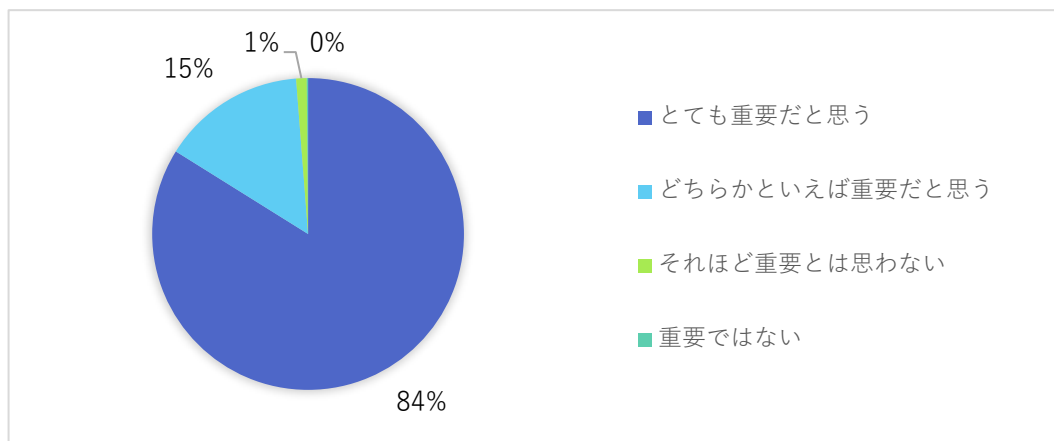
質問① 教科の基礎・基本を身につけること



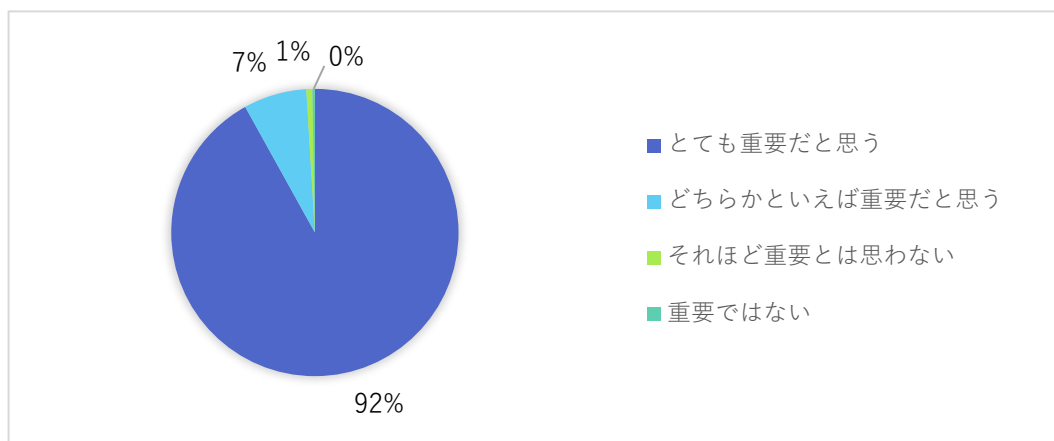
質問② 体力づくりや運動能力の向上



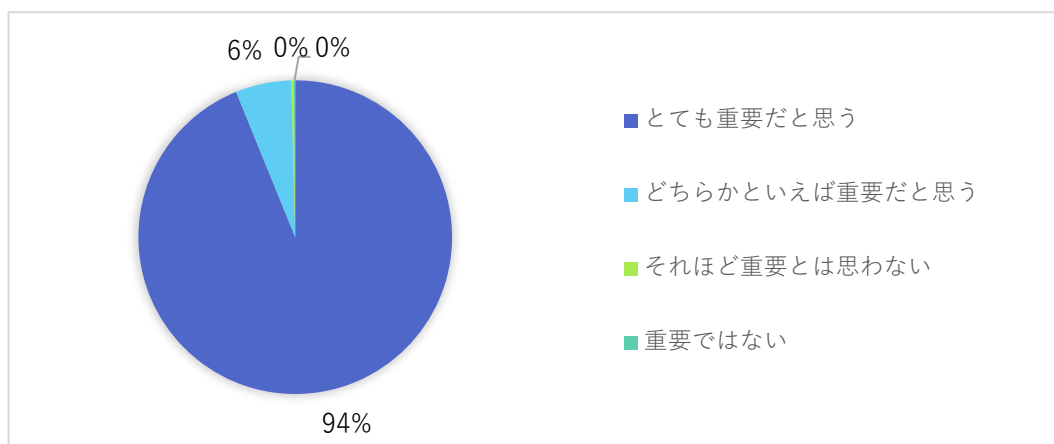
質問③ あいさつや服装など、礼儀や規律を身に付けること



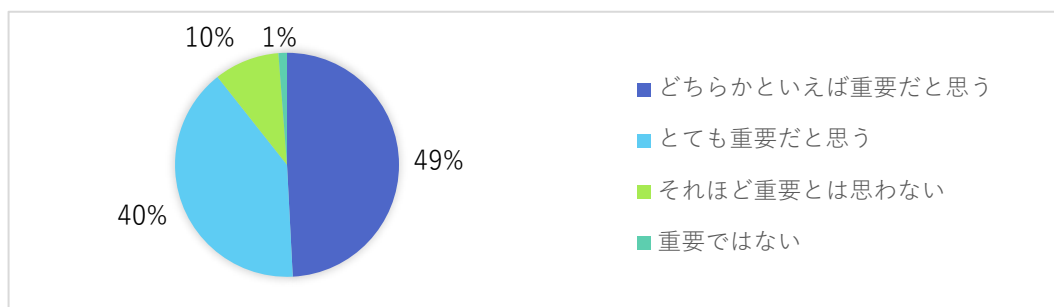
質問④ 人権を大切にし、いじめや差別がないこと



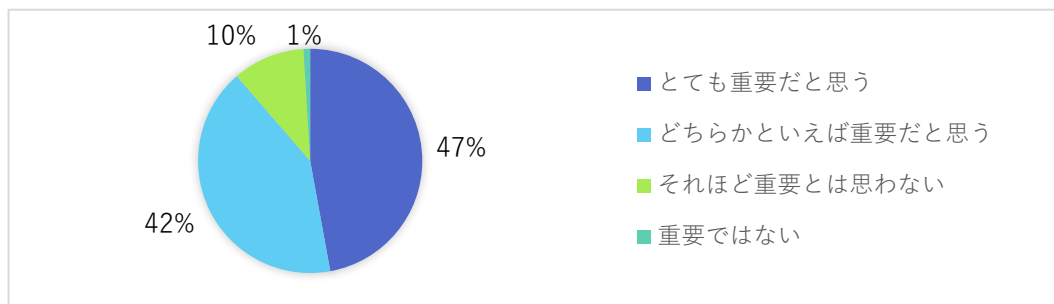
質問⑤ 思いやりや命の大切さなどの心の教育を行うこと



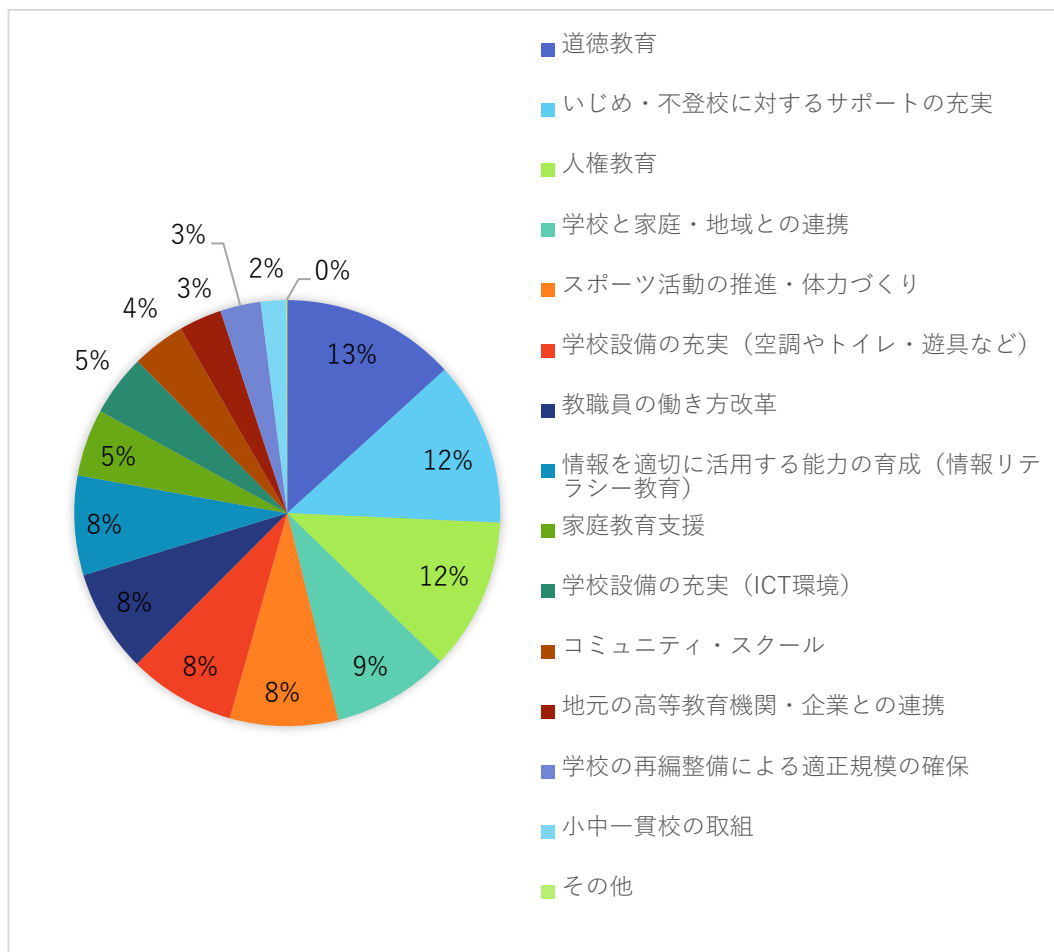
質問⑥ 行事の企画・運営に対する、子どもたちの積極的な参加



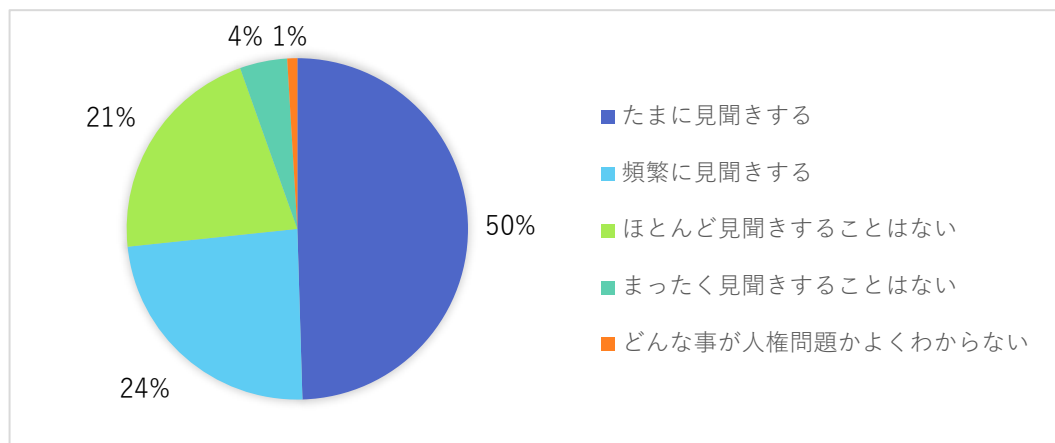
質問⑦ 受験や就職に役立つ知識や技能を身に付けること



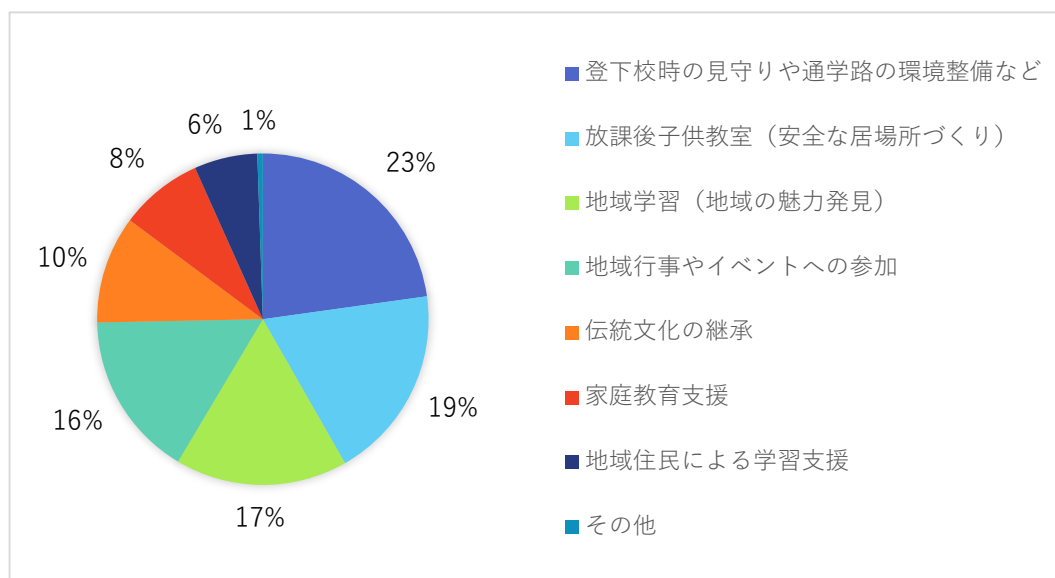
質問⑧ 今後の学校教育において重要な視点だと思うものを選択してください。



質問⑨ 日常生活やインターネット上（SNS を含む）で差別や悪口など人権問題と感じられることを見聞きしたことはありますか？



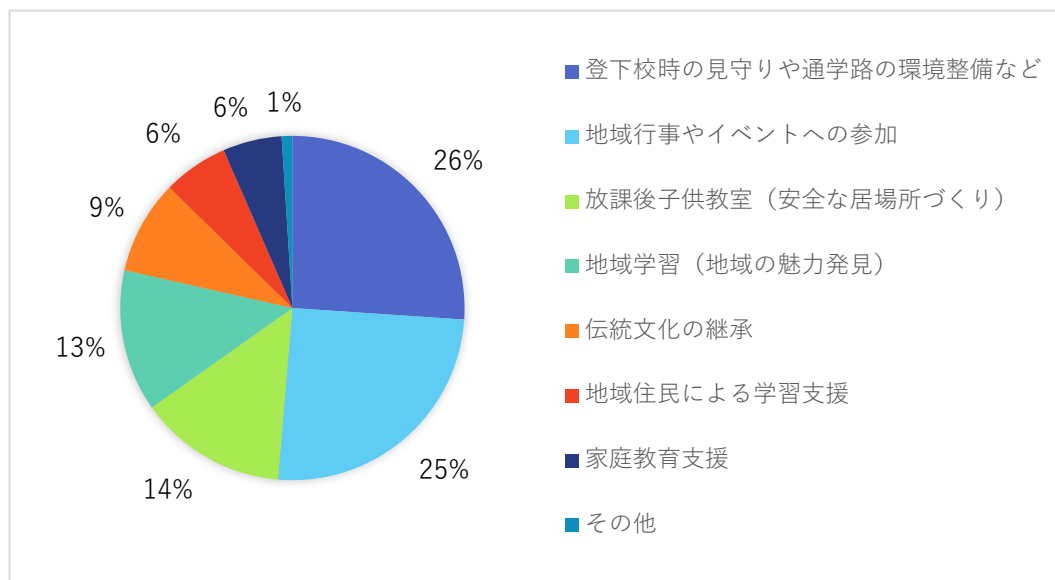
質問⑩ 地域と学校が協働して取り組む活動のうち、子どもたちにとって必要な活動は何だと思いますか？



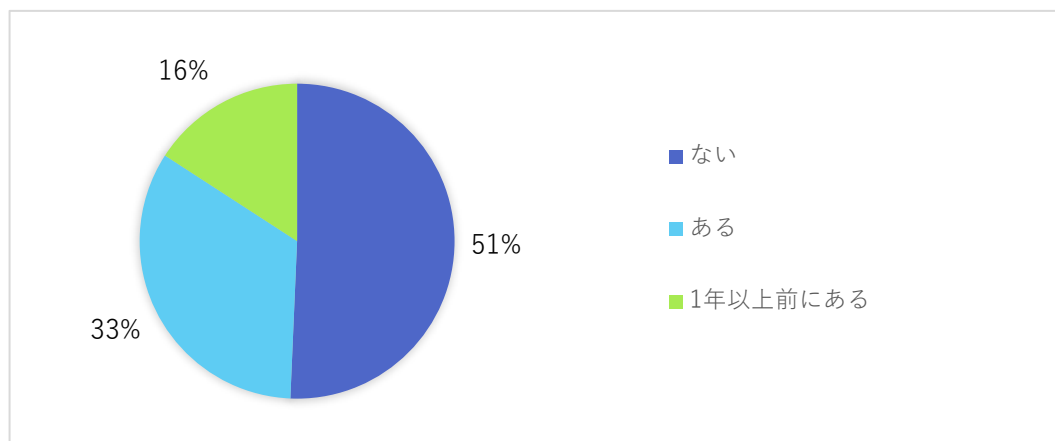
自由記述の内容

子どもと老人とのふれあい。老人ホームへの慰問・特別支援や学童等の分業・掃除やボランティア・地域の課題に対する福祉への子供の地域活動・3年後になくなるクラブ活動の継承・外国人宣教師との接触を禁止すること・地域の清掃等・ボランティアしたい人への教育研修が必要です・学校田や畑での作物づくり。地域の自然学習、散策。・地域ボランティアの方が高齢化しており PTA や若い方の参加を望みます・ボランティア活動

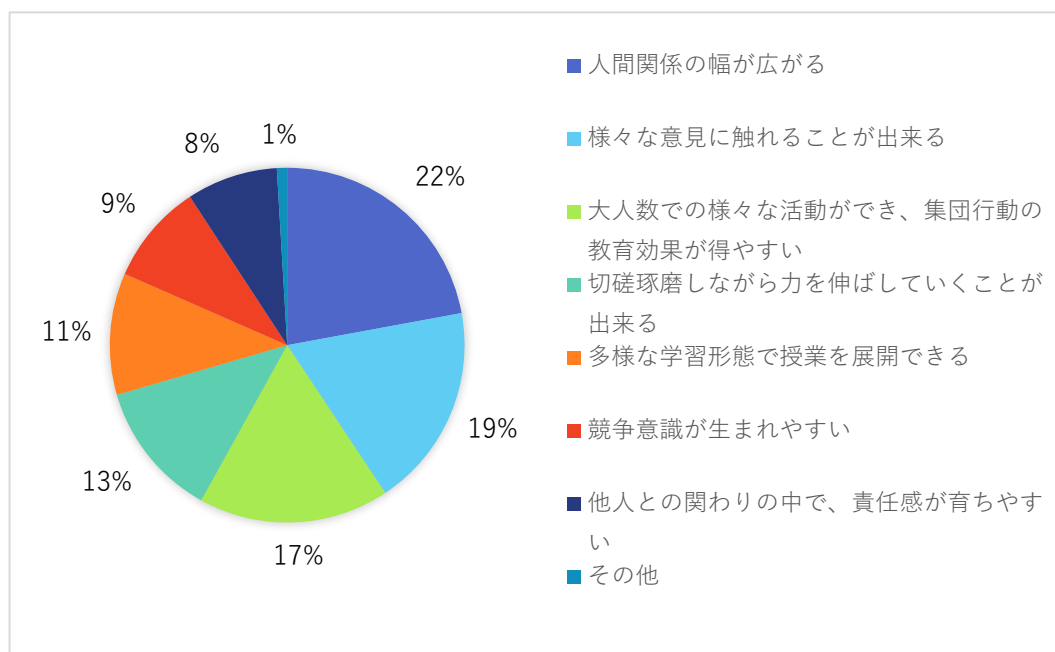
質問⑪ 地域と学校が協働して取り組む活動のうち、地域住民として取り組みたい（取り組んだことがある）ものは何ですか？



質問⑫ 過去 1 年間で、何らかのボランティア活動や地域活動に参加されましたか？



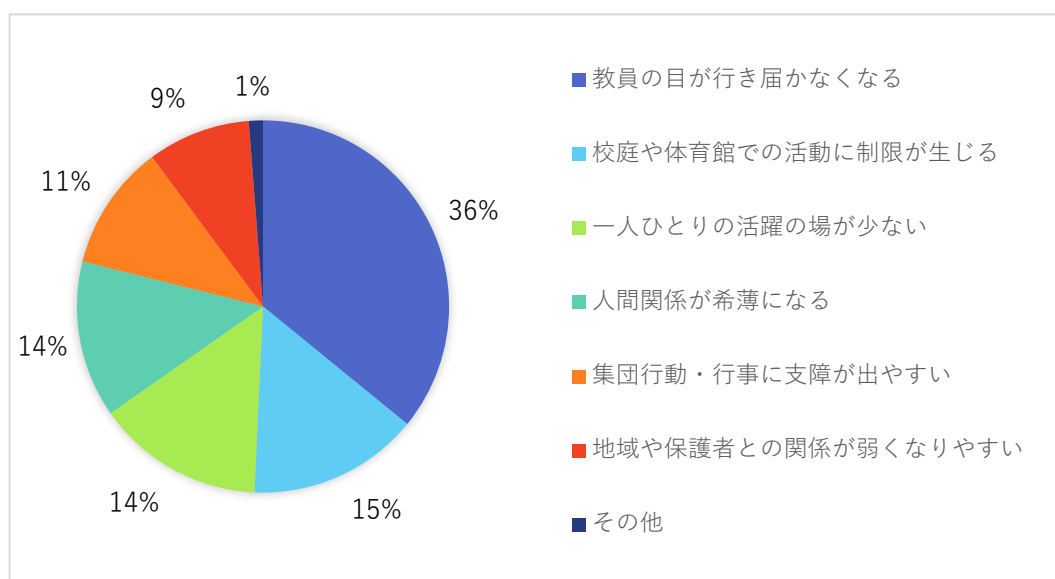
質問⑬ 大規模校のメリットについて、重要と思われるものを選択してください



自由記述の内容

多様な人との関わり方を学べる・いじめられる子といじめる子を離しやすい・大規模すぎてメリットを感じない・今の時代では無理・設備の維持管理の効率化が可能・教育経費や人材配置においてスケールメリットが得られる・集団行動に慣れる・いじめにあった際に、学年全体から孤立する可能性は低くなる・1学級30名程度だと指導者の力が十分出せるのではないのでしょうか・自分に合う友人に出会える確率が高い・部活の数が多い・設備が充実・いじめ等クラス替えの時対応できる・住民の移動により人数にバラツキはある・仮に学級担任とのコミュニケーションに支障が出た場合でも、他の先生からその子に合ったアドバイスなどがもらえる場合があるかも

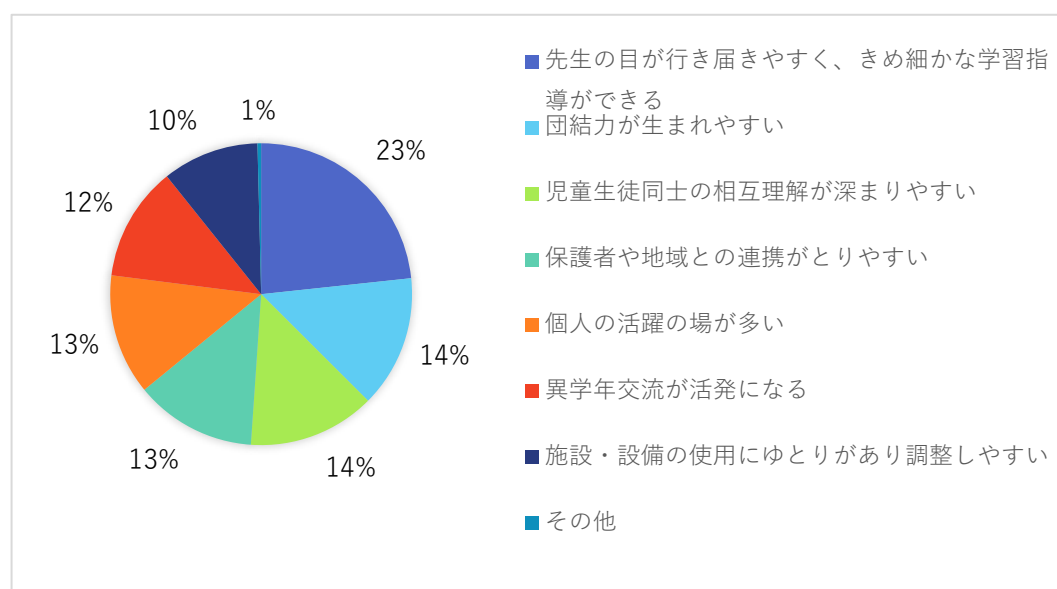
質問⑭ 大規模校のデメリットについて、とくに問題となりやすいと思われるものを選択してください



自由記述の内容

通学距離が長く負担が大きい・自分はマンモス校に通っていたが特に問題は感じない・生徒本人の志次第と思う・人間関係、グループ形成・いじめが多くなりそう。学級崩壊が起きやすそう・各個人の個性を伸ばしたり、個人に対する対応が希薄になりやすい傾向がある・学級数について 20～25 名までが望ましいと思う・非行の規模も比例して大きくなる・友人関係がグループ化する・悪い事が目立ちにくい・いじめが過激化してしまい、学校ぐるみで隠ぺいされやすい・個々人の意見が埋没しやすい・一人ひとりに時間を割けない。様々な問題が放置され先送りになる。教員のサービス残業も増える。・通学方法・一人に対して集団で圧をかけられる可能性あり・いじめや差別等を見落とすことが多くなりそう・孤立してしまう子が増える・出来る子と出来ない子の差が広がっても対策しにくい・教員自身の学習時間が十分とれなくなる

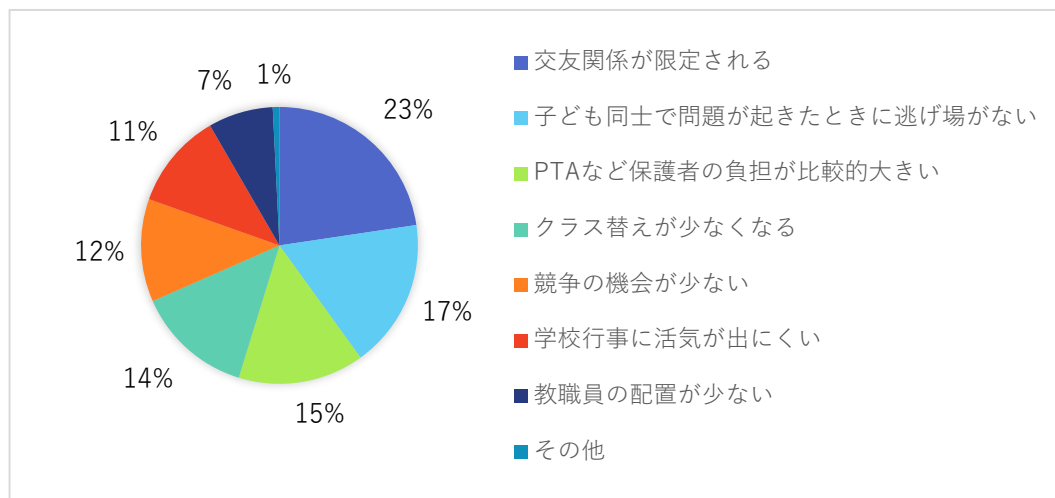
質問⑮ 小規模校のメリットについて、重要と思われるものを選択してください



自由記述の内容

近くに学校があるので通学しやすい・通学の時間が短い・先生の質の低下が著しい・保護者の意見が訊きやすい・学校が近くて良い・地域で子育てができる・先生と生徒との間で関わりが増える・孤独や仲間はずれが少なくなる・子どもの生活環境になど、お互いの親が把握しやすいので問題が生じた場合も動きやすい

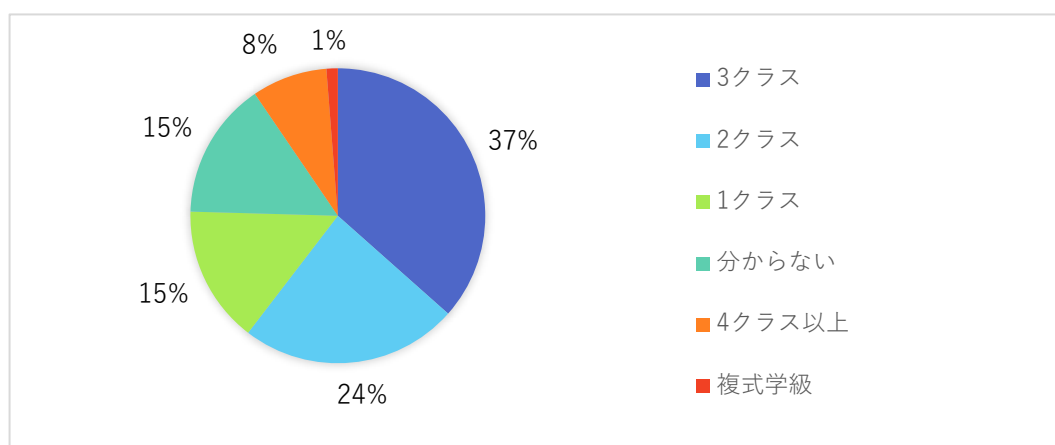
質問⑯ 小規模校のデメリットについて、とくに問題となりやすいと思われるものを選択してください



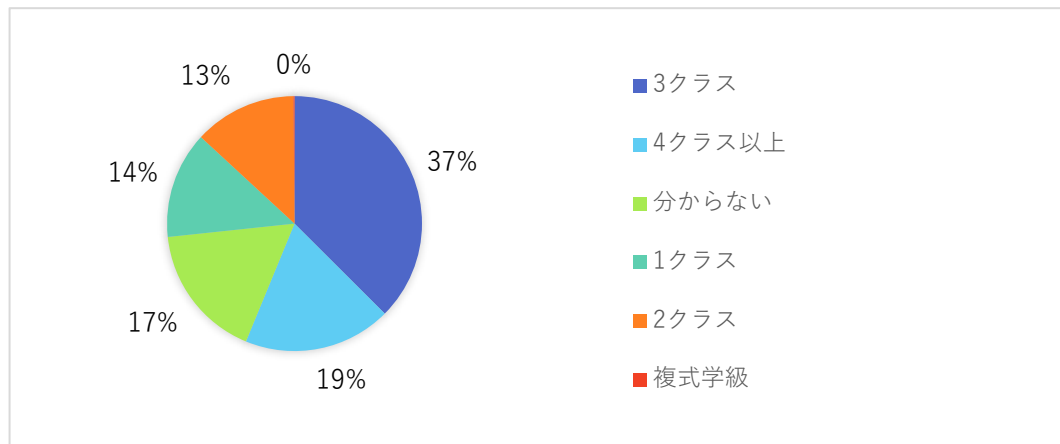
自由記述の内容

取組により変えられる・デメリットなし・施設の維持管理が難しい・登校班が作りにくい・設備・施設に無駄が出る・外部の同世代との関わりが得にくい
ため積極性に支障をきたす・いじめがあったときに逃げ場がなくなる・社会に出たときに対応できない。・いじめにあった際に学年全体から孤立する可能性が高くなる・生徒同士で問題が起きたとき、同調圧力が生じる・子供同士で問題が起きた場合、逃げ場がない。いじめが固定しやすい。・何事も悪目立ちして、逃げ場がない。先生に相談したくても相談できる余裕がない。みんな色々と諦めている。・グループが少なくて好きな遊びが出来ない。

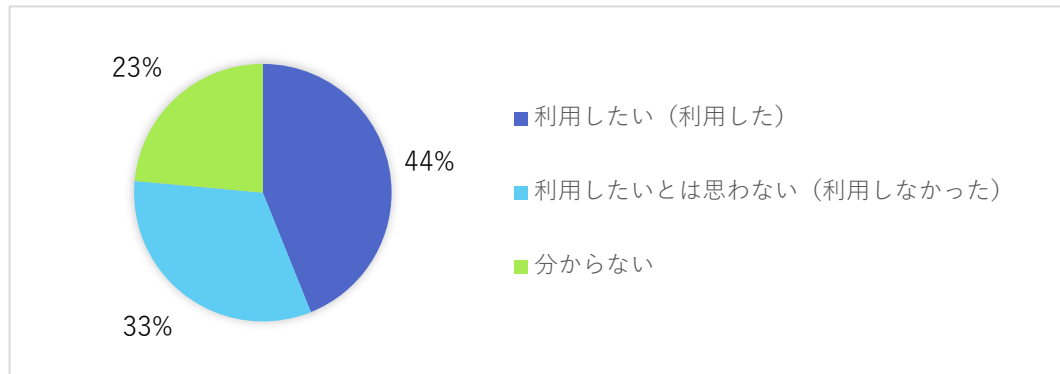
質問⑰ 小学校の規模について、適正と思われる一学年当たりの学級（クラス）数を選択してください



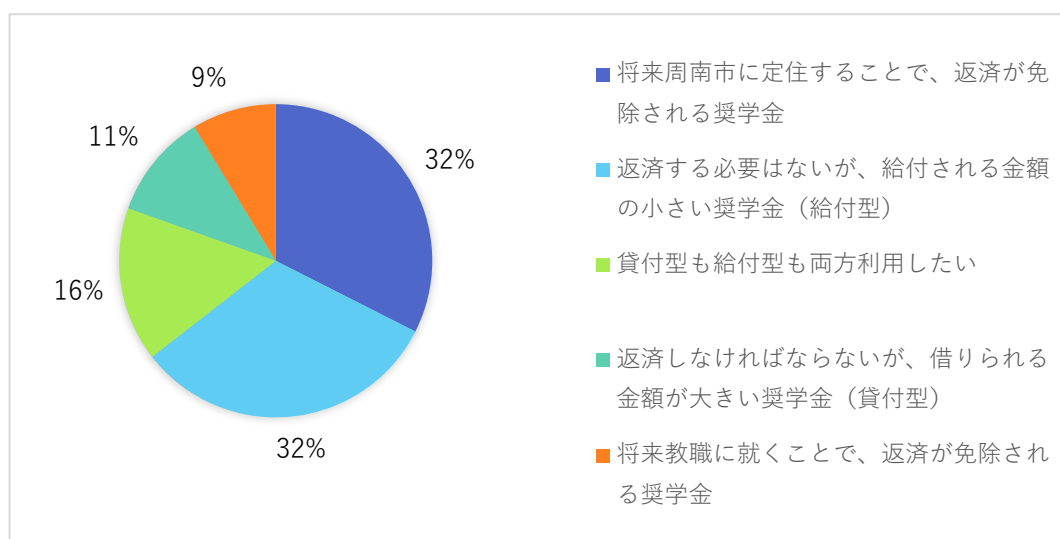
質問 ⑱ 中学校の規模について、適正と思われる一学年当たりの学級（クラス）数を選択してください



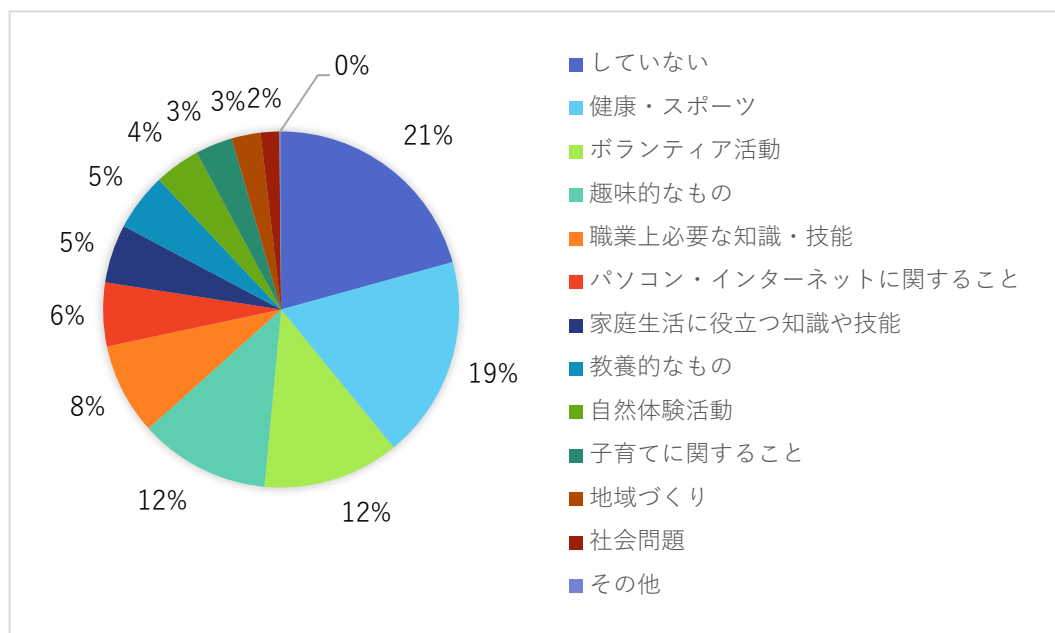
質問 ⑲ 大学や専門学校などへの進学において、奨学金の利用を考えますか（考えましたか）？



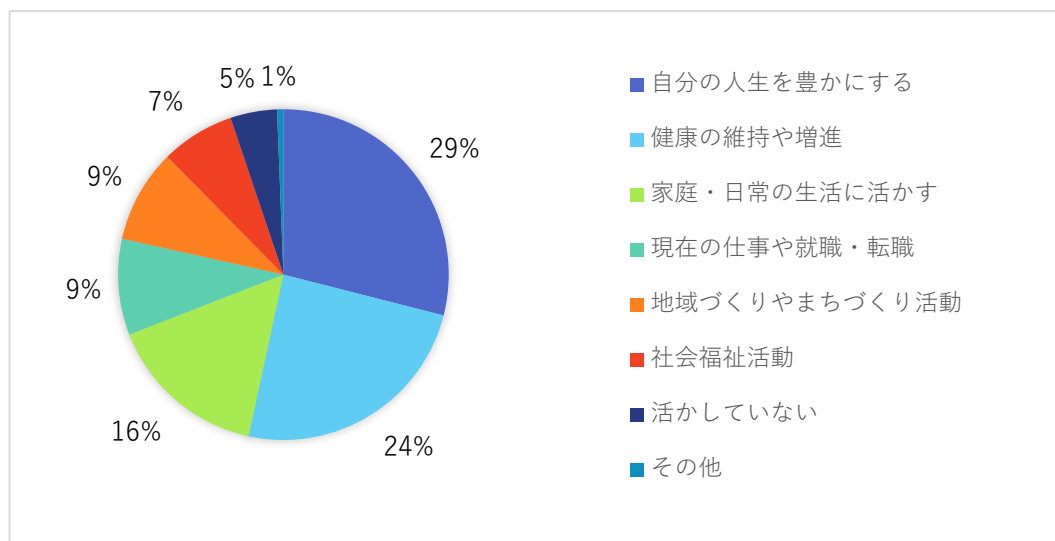
質問 ⑳ 次のうち、利用しやすいと思われる奨学金を選んでください。



質問②1 過去 1 年間に、次の分野に関する生涯学習をしたことがありますか？



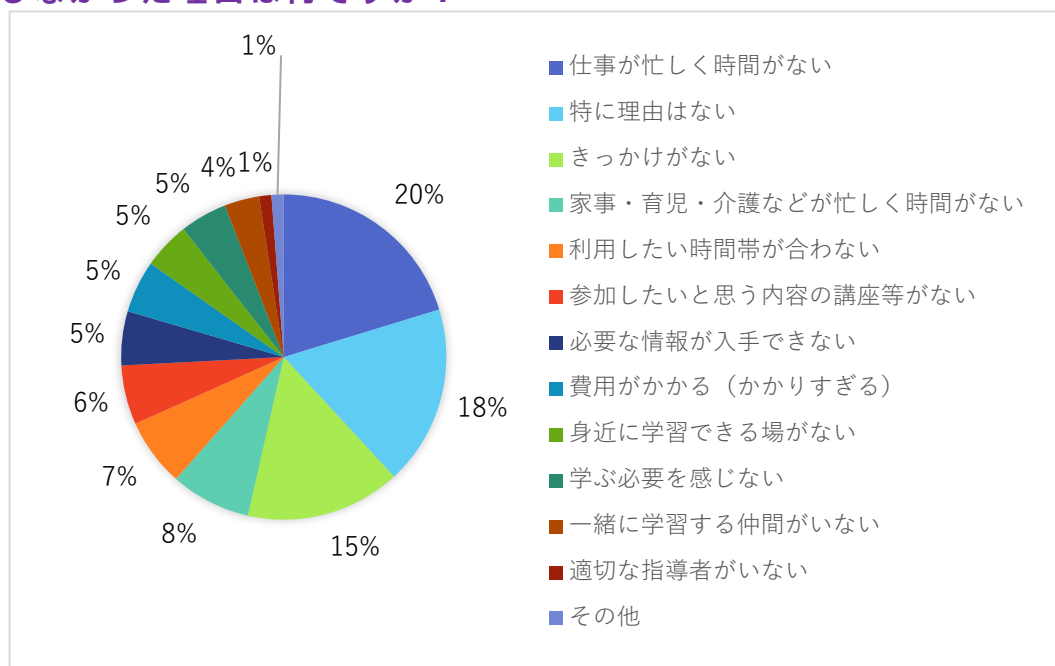
質問②2 生涯学習で学んだことをどのように活かしたいと思いますか？



自由記述の内容

生涯学習は手段ではなくそれ自体が目的・旅行・生涯学習をする時間がない・年齢に関係なく学ぶこと、努力することで自身のスキルアップへとなげ、人生に彩をつける・退職後も引き続き資格を活かして働ける・現在古文書を、新南陽図書館、遠石市民センター、オープンカレッジで講座を持っています。・次世代への教育

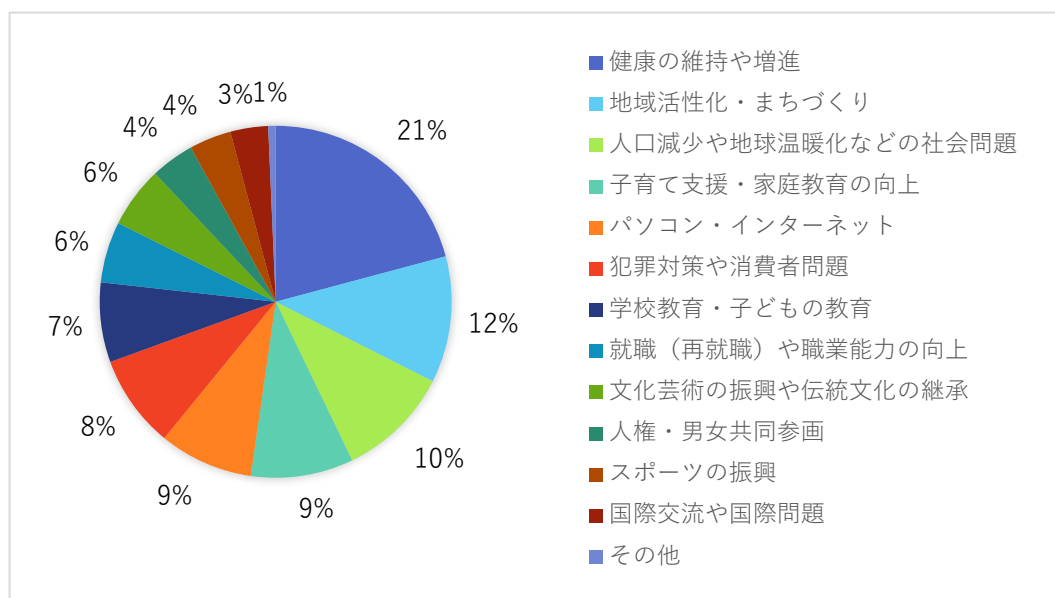
質問②【この質問は生涯学習をしていない人のみ回答してください】生涯学習をしなかった理由は何ですか？



自由記述の内容

車いす生活中にて移動不便・病気の為・高齢のため・体が不自由・生涯学習自体よく理解してない・年齢的なもの・現在は高齢のため参加が難しい。

質問④今後、あなた自身や、他の市民が学ぶ必要があると思うテーマは何ですか？

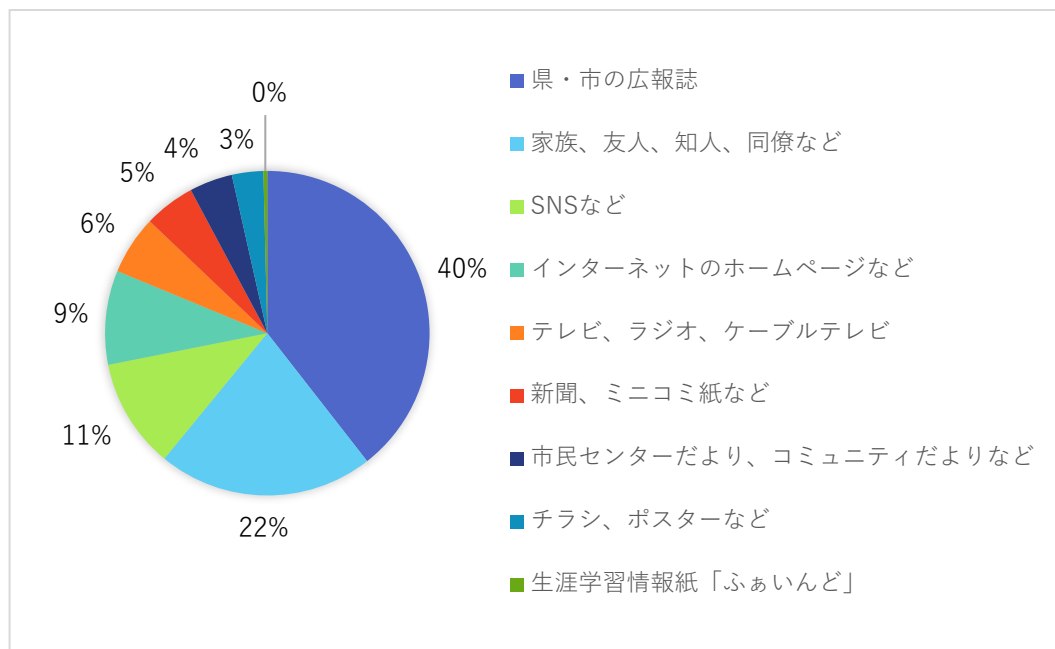


自由記述の内容

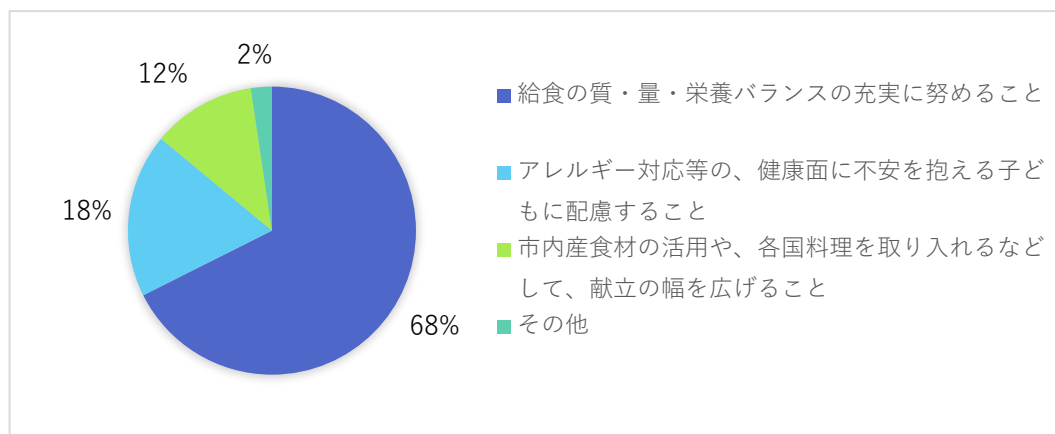
その時々興味の対象であればテーマは問わず・資産運用・英語・分からない・外国人問題、50年以内にアジア最貧国になる日本に対しどうすべきか。・人それぞれ置かれている環境や状況によって求めるテーマは違う。大切なのはそれぞれが求めるテーマを「学ぶ機会がある」ということを知ることが身近にあるかないかだと思います。・不必要・生きている間、色々なことを学ぶことが必要だと思います。・高齢者の交流又は学習会等があると

よいです。・教職員の勤務外の負担の軽減・生物多様性・福祉や法律・社会教育学（豊かな社会、社会福祉のためには労働人口増加が必須、子育て支援の必要性）・日本国民として天皇家について学ぶこと

質問⑤ 生涯学習情報をどのように入手していますか？



質問⑥ これからの学校給食に最も大切な事柄は何だと思いますか？

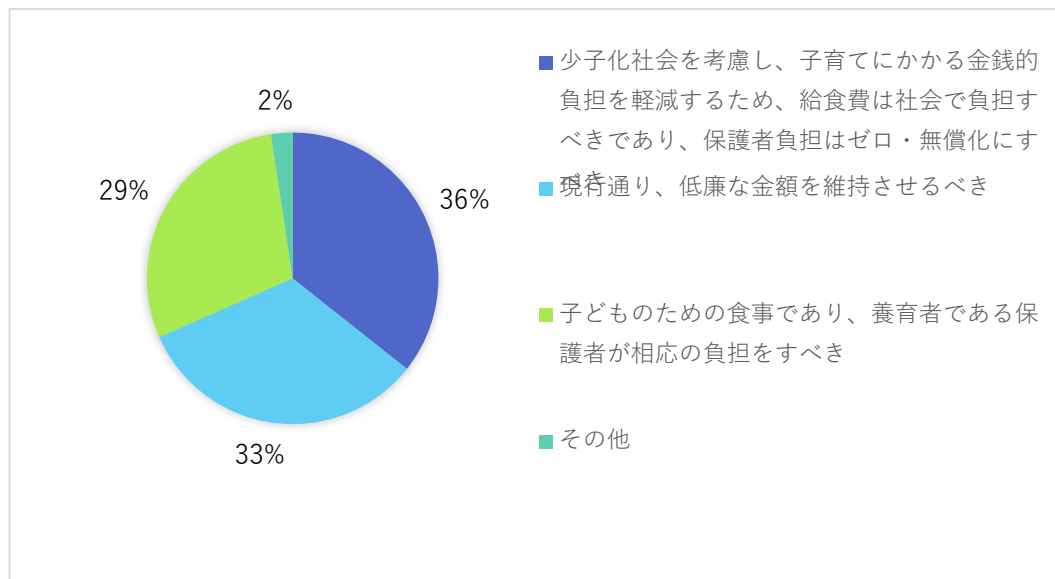


自由記述の内容

こどもが喜ぶメニュー・小学校給食おいしいと言っています！いつもありがとうございます！・原状を将来的安定的維持すること。食材費高、人員不足にいかに対応していくか・一年に一度フグ料理（からあげや汁物だけでも）・給食費は多少高くてもいいので、食品添加物を使用していない食品を使うこと・感謝の気持ちを持って食べること・おいしさ・誤飲などない適正な食べ物。いろんな食に触れて食べれなくてもそれを体験すること・パンより米を多くするべき、米の時は牛乳は合わない。牛乳が苦手な子にとっては毎日が苦痛となる。・すべて国産原料使用。食品添加物不使用。・食料自給率を上げるためにパンを廃止し、米飯のみにすることで米作農家を守ること・完食にこだわらないようにしてあげて欲しい。・全て国産、添加物なしの材料を使うこと・有機栽培された安心安全の材料を使用すること・フードマイレージに配慮した安全で新鮮な周南・山口県の食材を活かした料

理・安心・安全・国産・給食時間をもう少し長くしてゆっくり食べて欲しい

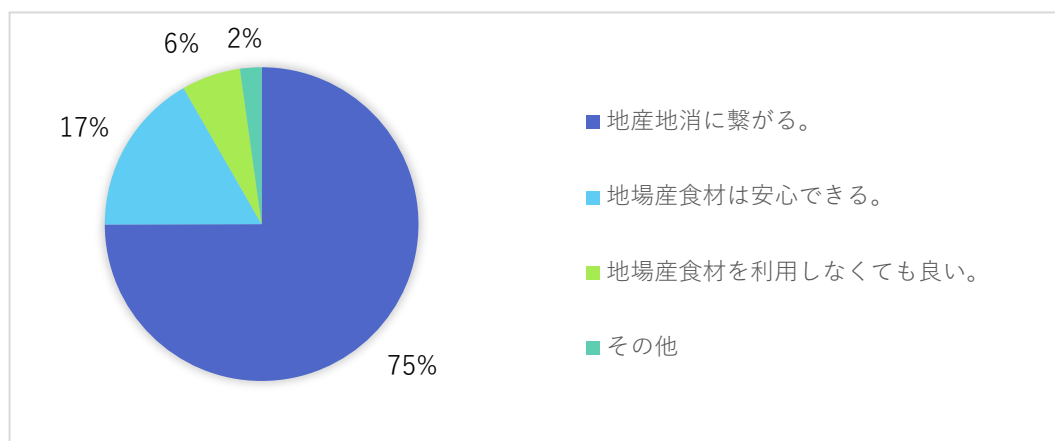
質問内容㉗ 学校給食費の在り方についてはどう思いますか？



自由記述の内容

3 人目無償・低所得家庭には何らかの配慮があればよいと思う・保護者が負担すべきだが、市が負担してくれるならありがたい。・家庭に応じて。0 か 100 でなくてもよいのでは・多少値上げしても仕方ないと思う（物価高騰しているの）・現行の金額を、保護者と行政で折半すると良いと思う。・物価高騰に対応しやすく、子どもを通わせる動機とするため給食無償化すべき・保護者の負担が増えても人数が多いクラスの給食の量を増やしてほしい。・市と保護者の共同負担が望ましい・分からない・「負担すべき」ではなく社会で無償化してあげると良いと思います・お金を出して当たり前だと思っています。親が働いて得たお金で作っていただいた給食を食べていることに感謝するべきだ。無料にしたら食べれて当たり前になる。食べれることは他国では当たり前でないことがあることも親も含めて教えるべき。・保護者が相応の負担をすべきと思うが、低所得の家庭やシングルマザーの家庭など配慮して収入に応じて負担額を変えるべきと思う。・本来は保護者が負担すべきであるが、経済的理由で無理のある家庭には市が援助をする・学校の教材費と給食費は子ども手当から支払えるようにして欲しいです。・保護者と市の負担・低所得で給食費を捻出しづらい家庭を考慮して欲しい

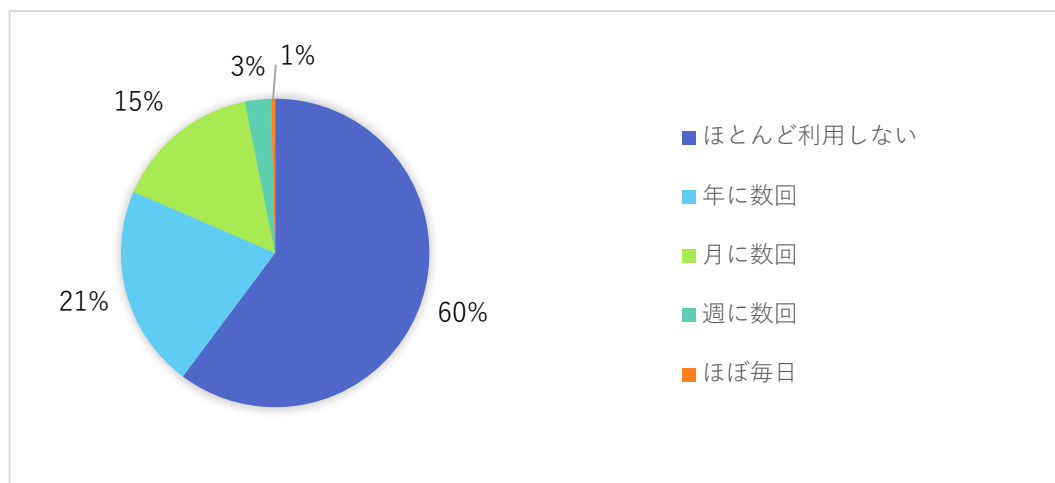
質問㉘ 学校給食に地場産食材を活用することをどう思われますか？



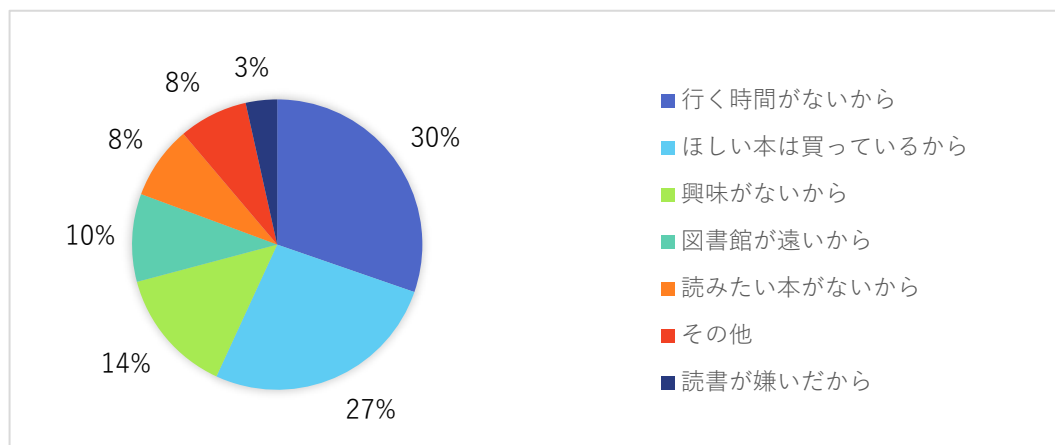
自由記述の内容

地産地消に繋がる。もっと積極的に活用すべき。・よくわからない・品質の良い物であれば地産地消にこだわらなくても良いと思う・必要に応じて使用すれば良い。無理に使う必要はない。・安全なら産地は問題ない・その土地でとれたものはその土地で消費するのが一番良い・子どもや親が地域のことに関心が持てるようになる・コストバランス・地場産食材は利用したほうがいいが、それにより給食費の負担が増えるのであれば利用する必要はなし・地元の農業発展のためには当然地産地消でなければならないと思う・地場産食材は高く実は冷凍だったりするので、まず食材ルートをしっかり確保しないとまったく意味のない地場産週間になる・こだわることもないと思います。・地場産でなくても子供のためになるものを選ぶ。・地場産が低廉な価格であれば積極的に利用すべき・もちろん地産地消でなければならない・地場産食材を知る。ふれるいい機会。

質問②⑨ あなたは公共の図書館をどのくらい利用していますか？



質問③⑩ 図書館を利用しない理由についてお答えください

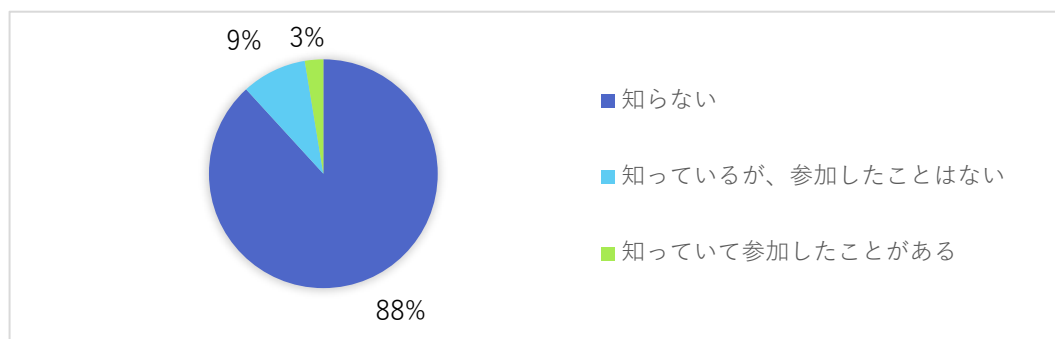


自由記述の内容

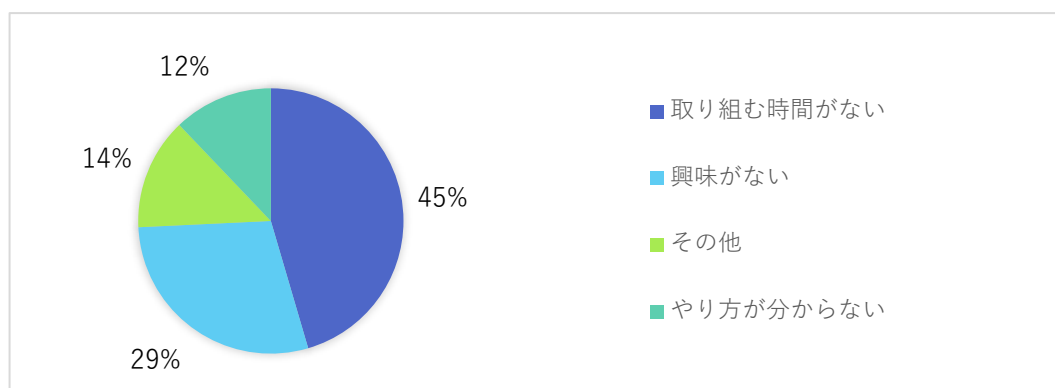
SNS 等を利用した方が効率よく情報を集められる・ゆっくり読書する時間がないから・用事がない・読みたい本（ベストセラー）は、いつも半年待ちです。その時は下松市を利用しています。・利用したことがないから・以前は行っていたが今はその気持ちが無い・体調があまり良い状態ではないため・インターネット利用する・子どもが小さい頃はよく利用していた

が、年を取って老眼になり、本を読むこと自体がなくなっている・本を読む習慣がない。・図書館で勉強が禁止されているから・駅前図書館には行きたいが、駐車場は1時間以上いるとお金をとられるから行きにくい・職場で読んでいる・行く機会がないから・駐車場が少ない・駐車場がないから・WEBで対応できるから・通うのが大変だから（足が悪い）・まずインターネットで検索し、必要な本は購入する・駐車設備不備・まずは家にある本、新聞を読んでいるから。時折利用しようと思う。・農業が楽しく読書習慣がなくなってしまった・本を読む習慣がない・足腰の力が落ちて自転車にうまく乗れなくなったから・高齢のため行くのが大変・ネットで読んでいる。定期刊行物は買っている。・書籍の多くがネット販売で購入できるようになったから・図書館に行く足がない・数年前県外から転入しましたが、駅前という場所は利用しにくい。・他に本等を取得する方法があるから・時間をかけないと読めないのを買っている・若いころに十分読書はした。今はテレビで知りたいことを大体知ることが出来る。

質問③① うちどくコンテストを知っていますか



質問③②（うちどくコンテストに）参加しない理由についてお答えください。



自由記述の内容

子どもがやりたがらない・親がやろうとすると読書を強制することになる。本人たちがやりたいならやるという考えです。・借りた本を家族で読むことがある・思想の違いの壁を乗り越えられないから・健康上の理由・子どもがいない・他の家族が行っている・タイミングを逃してしまっている。・発想は良いが面倒